
みずほ経済・金融ウィークリー

2021.6.7

みずほリサーチ&テクノロジーズ



先週の内外経済・金融市場動向・評価 & 今週の注目点

【先週の内外経済・金融市場動向・評価】

- 世界の新規感染者数は減少傾向だが、アジアや南米新興国の一部で感染拡大。日本は沖縄を除き全国的に感染第4波がピークアウト
- 米国では、雇用が再加速も、回復が道半ばであることを確認。また、供給制約が想定以上に続くことへの企業の警戒が強まる状況。ユーロ圏の5月合成PMIは、コロナ危機後の最高水準に。感染対策緩和で、観光業等を除いたサービス業が幅広く回復。経済再開に伴い川上物価に上昇の動きも。中国の5月製造業PMIは51.0と前月より小幅に低下。生産は改善も、供給面での制約が継続しており、新規輸出受注も低下
- 日本の4月生産は資本財や情報関連材がけん引し、2カ月連続で増加。一方、個人消費は緊急事態宣言の影響でサービス消費を中心に減少
- 米雇用者数の伸びは前月から加速したものの、市場予想を下回り、米10年債利回りは1.5%台半ばに低下。株式市場は景気回復期待や金利低下を背景に上昇

【今週の注目点】

- 米国では、5月消費者物価の伸びが一段と加速するかが注目点。日本の1~3月期GDP(2次速報)は前期比年率▲3.6%と1次速報(同▲5.1%)から上方修正を予測

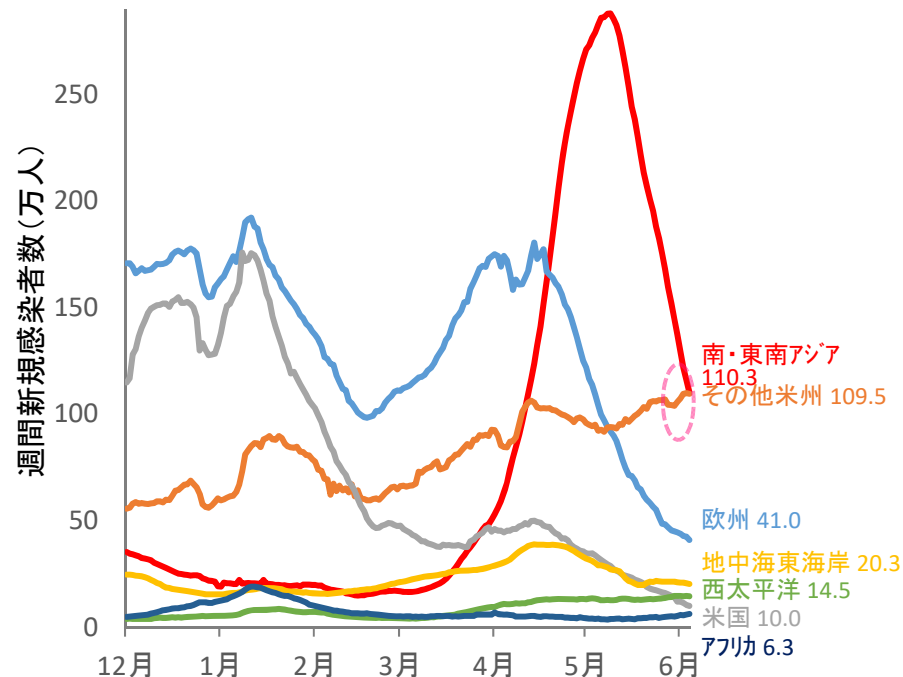
《目次》

1. 新型コロナウイルス関連	
(1) 感染動向	P 3
(2) ワクチン接種動向	P 11
2. 各国経済・金融政策・政治	
(1) 米国	P 15
(2) 欧州	P 20
(3) 中国・アジア	P 22
(4) 日本	P 24
3. 金融市場	
(1) 内外金利	P 27
(2) 内外株式	P 28
(3) 為替	P 29
巻末資料(主要経済指標一覧・スケジュール)	P 30

1. (1)世界の感染動向: インドや欧米先進国を中心に新規感染者数が減少

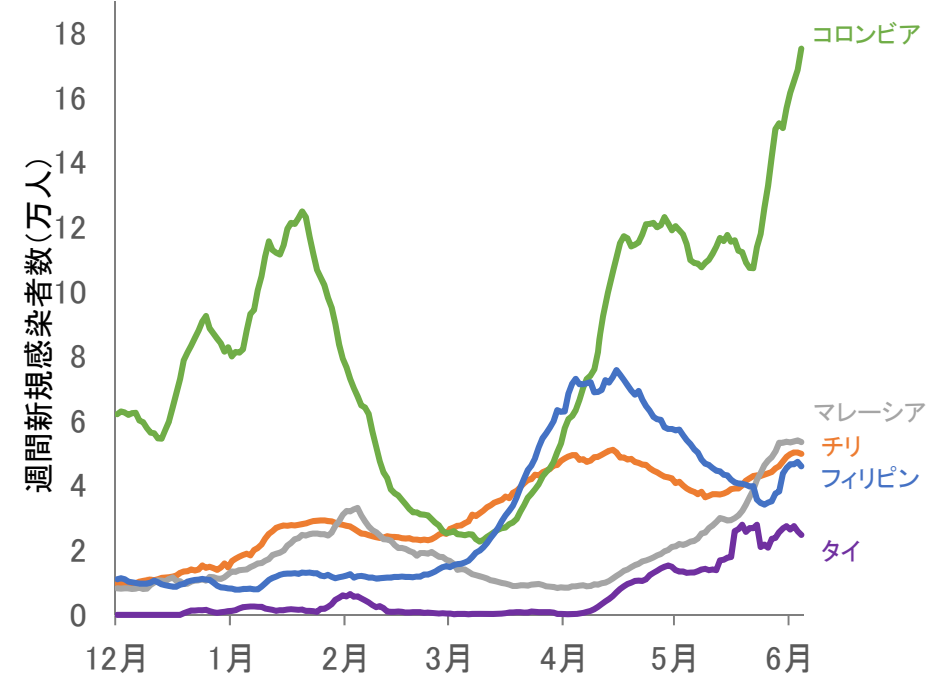
- 世界の累積感染者は6/7朝時点集計で1億7,299万人
- 週間新規感染者数は312万人(前週:367万人)と減少傾向が継続
 - インドの週間新規感染者数は97万人(前週:144万人)と大幅に減少。欧州、米国も減少傾向を維持
 - 南米主要国ではブラジル、アルゼンチンにピークアウトの兆しがみられる一方、コロンビアやチリで依然拡大
 - アジアではマレーシア、フィリピン、タイで新規感染者数が増加

世界の週間新規感染者数



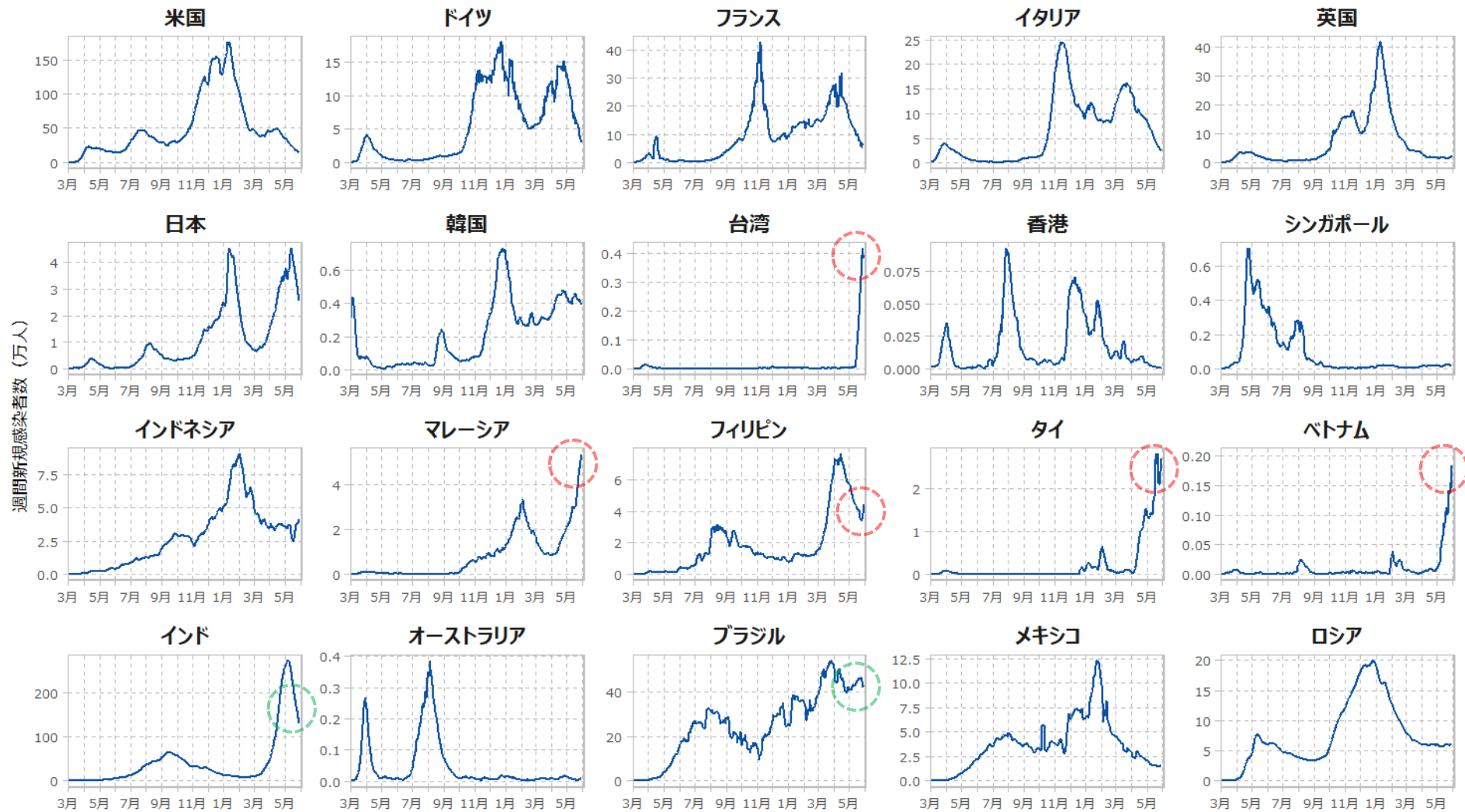
(注)6/6時点集計値(直近データは6/4)。地域区分はWHO基準
 (出所)Johns Hopkins University、WHOより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

感染拡大局面にある国の週間新規感染者数



(注)6/6時点集計値(直近データは6/4)
 (出所)Johns Hopkins Universityより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考)世界の感染動向:主要国の週間新規感染者数

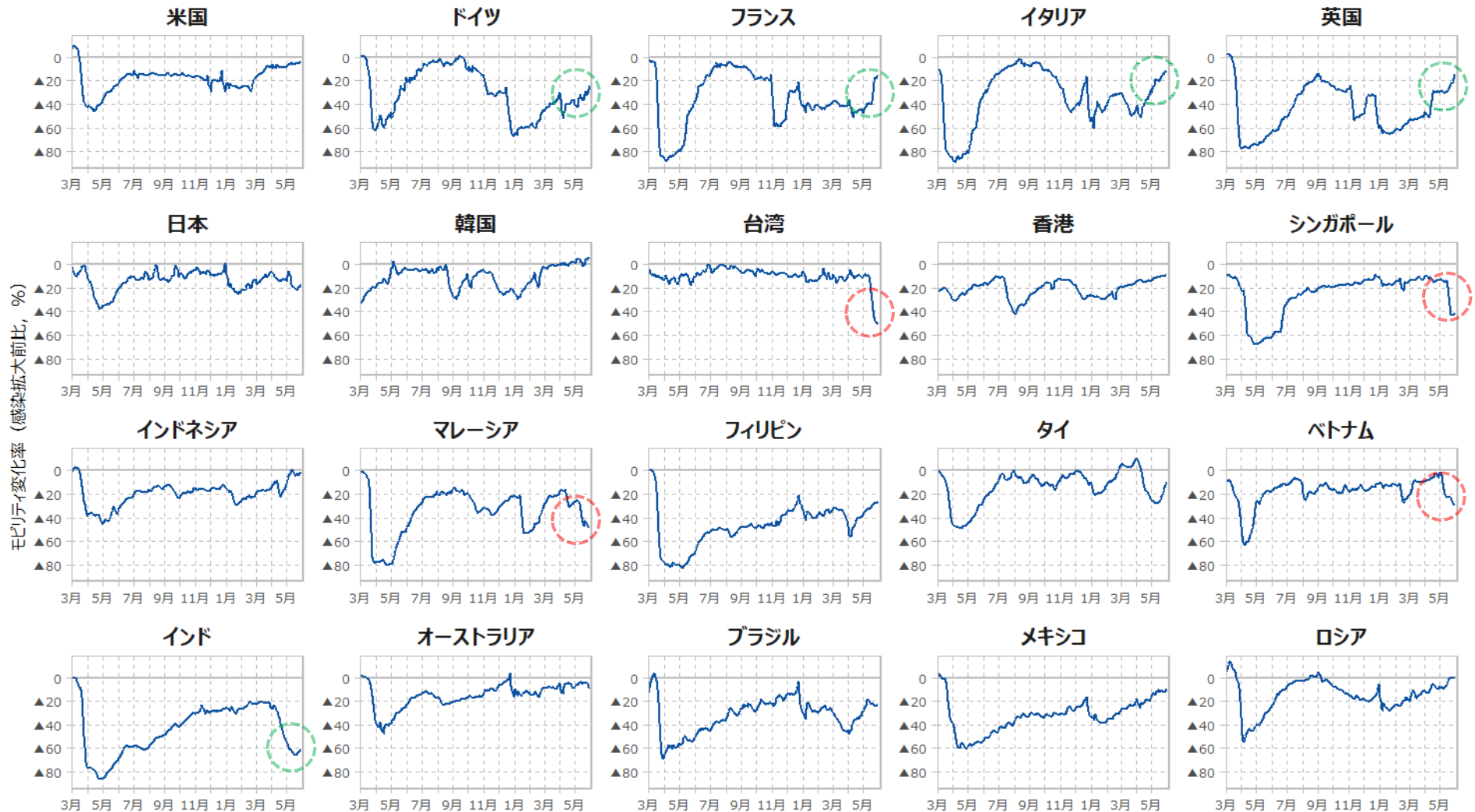


(注)6/3時点集計値(直近データは6/1)

(出所) Johns Hopkins Universityより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考)世界の感染動向:主要国の小売・娯楽モビリティ

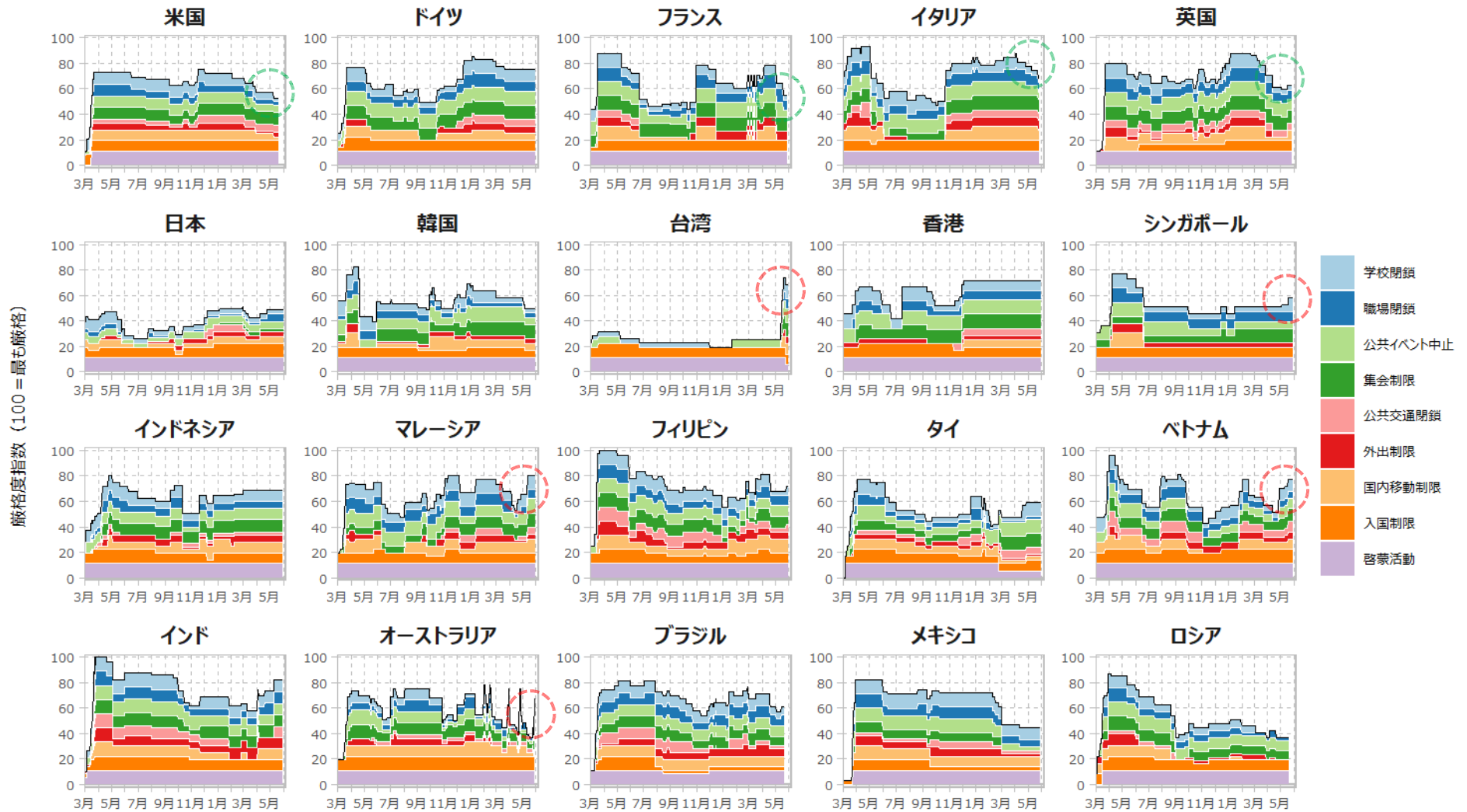
- 東・東南アジアで小売・娯楽モビリティが大幅下振れ。インドは感染減少を受け足元でモビリティ底打ちの動き



(注) 6/1更新版(直近データは5/30)。後方7日移動平均
 (出所) Google LLCより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考)世界の感染動向:主要国の感染対策厳格度指数(Stringency Index)

■ 感染拡大するアジア主要国で対策厳格化。オーストラリアはビクトリア州のロックダウン(5/27~1週間)が影響



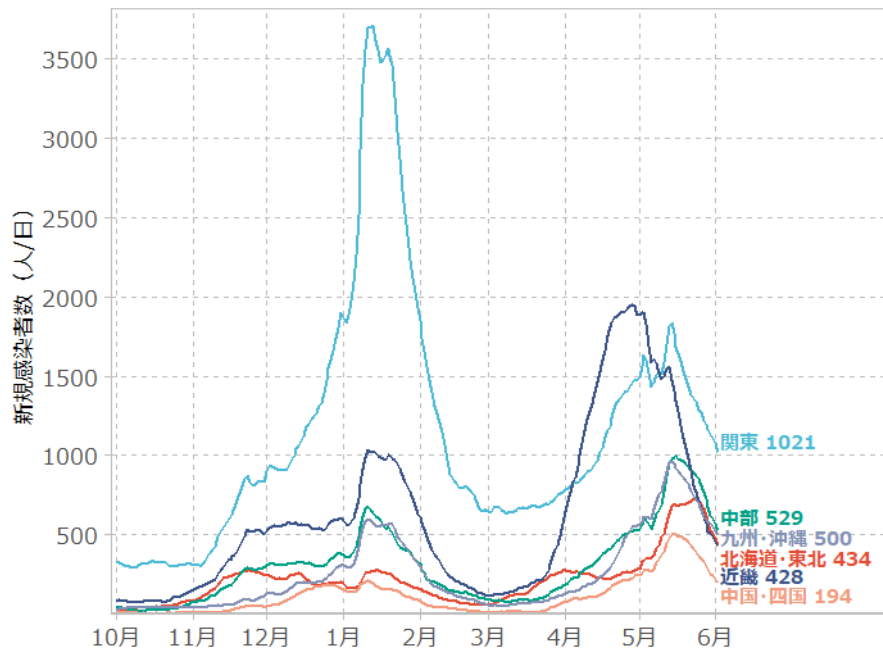
(注) 6/3更新版(直近データは6/2)。後方7日移動平均

(出所) The Oxford COVID-19 Government Response Trackerより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本:全国的に新規感染者数がピークアウト

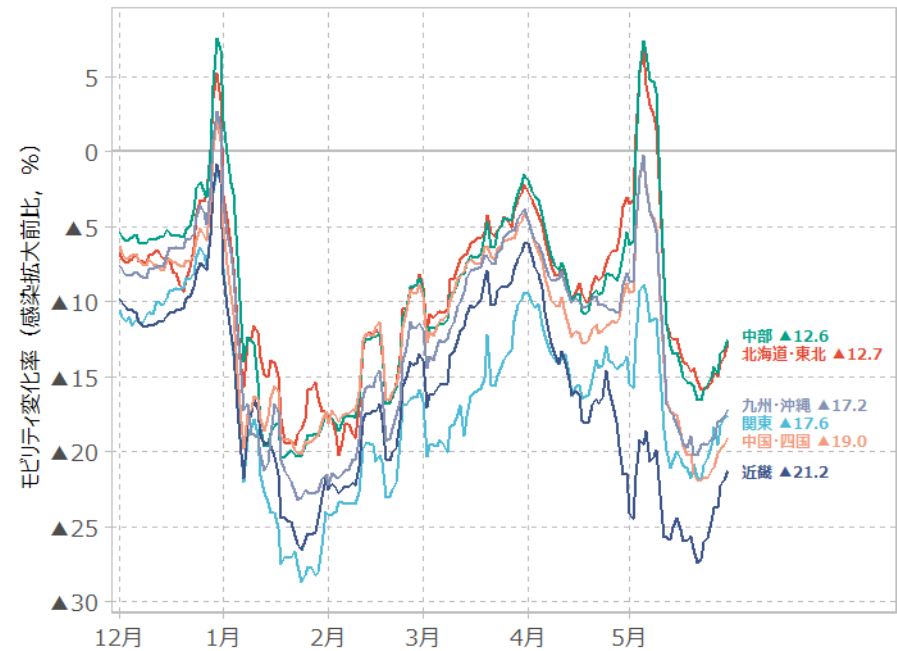
- 全国的に新規感染者数がピークアウト
 - 6/3時点で新規感染者数がステージⅣ(週間新規感染者数が人口10万人当たり25人以上)の都道府県は、北海道、東京、愛知、高知、沖縄の5県に。うち、北海道、東京、愛知は感染者数が減少傾向
 - 沖縄の感染者数は10万人当たり週間125人と非常に厳しい状態。今後は感染がピークアウトに向かう見込みだが、沖縄は緊急事態宣言が延長される可能性大
- 小売・娯楽モビリティは総じて5月下旬に底打ち。早期の感染再拡大を防ぐため、引き続き人出を抑制する必要あり

地域別の新規感染者数(7日平均)



(注)6/3時点集計値(直近データは6/2)
(出所) <https://covid-2019.live>より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

地域別の小売・娯楽モビリティ



(注)6/1更新版(直近データは5/30)。後方7日移動平均値
(出所) Google LLCより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考) 日本: 都道府県別の人口10万人当たり週間新規感染者数とステージ判断

感染ステージ判断と対策

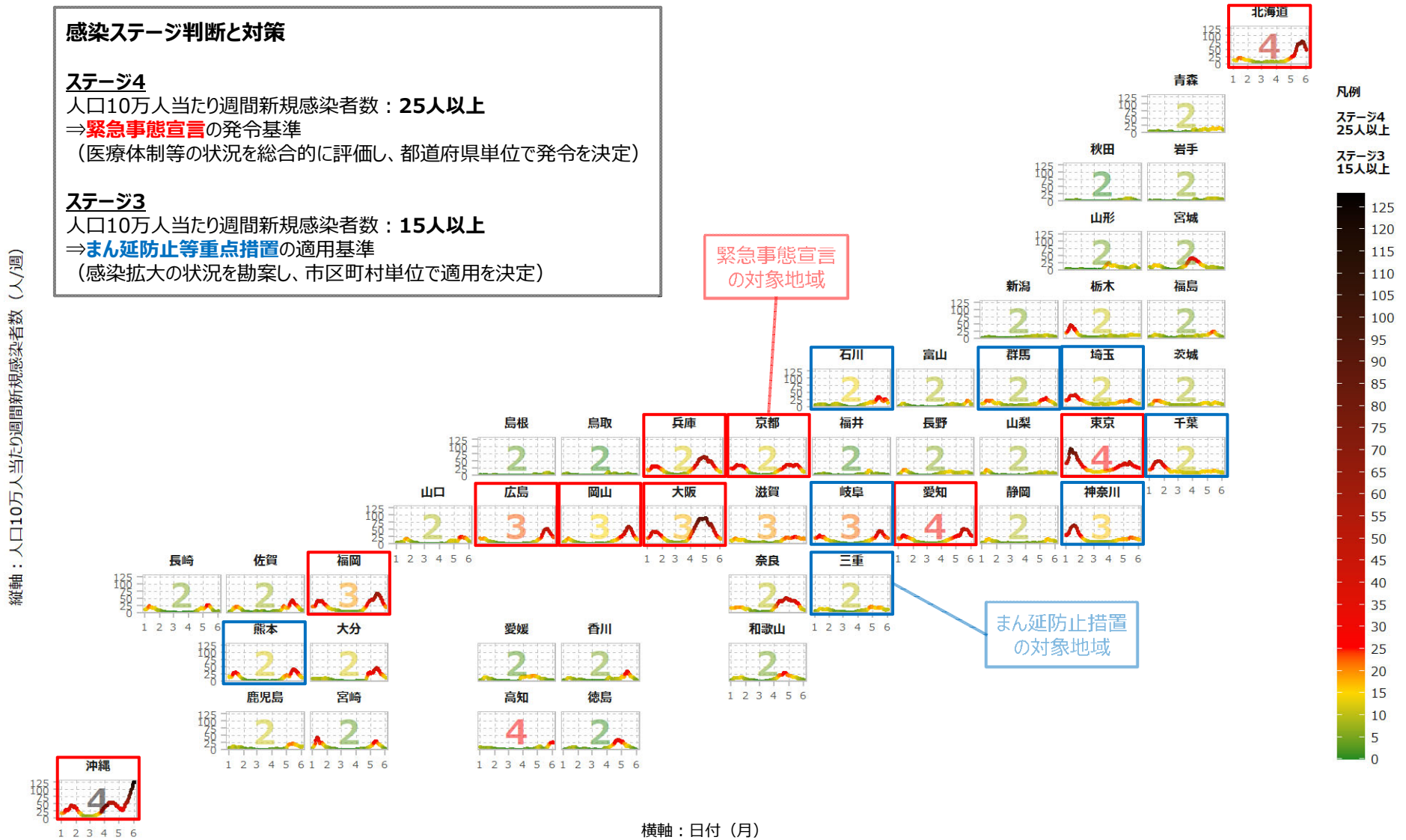
ステージ4

人口10万人当たり週間新規感染者数：**25人以上**
 ⇒**緊急事態宣言**の発令基準
 (医療体制等の状況を総合的に評価し、都道府県単位で発令を決定)

ステージ3

人口10万人当たり週間新規感染者数：**15人以上**
 ⇒**まん延防止等重点措置**の適用基準
 (感染拡大の状況を勘案し、市区町村単位で適用を決定)

縦軸：人口10万人当たりの週間新規感染者数 (人/週)

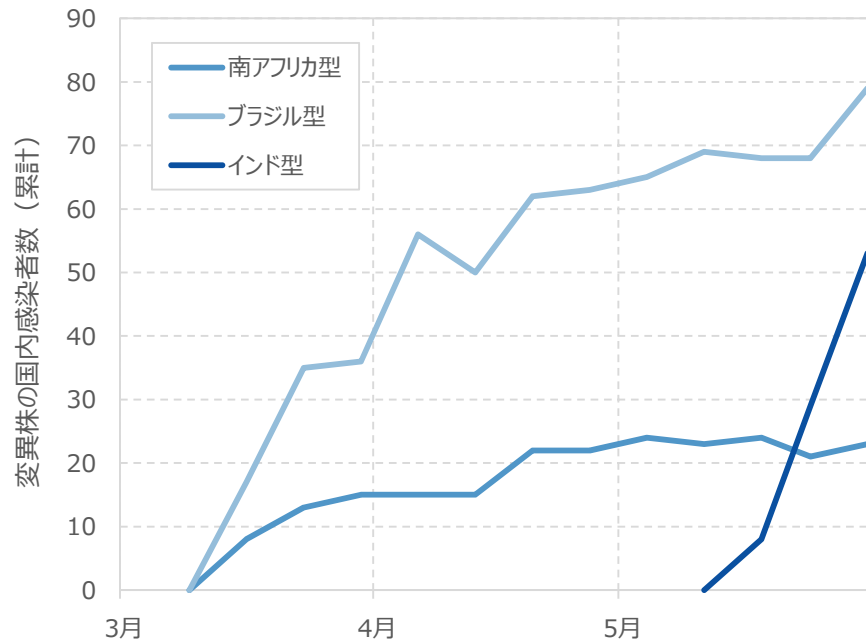


(注) 6/3時点集計値(直近データは6/2) (出所) <https://covid-2019.live>より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本：インド型変異株の国内感染者数が増加

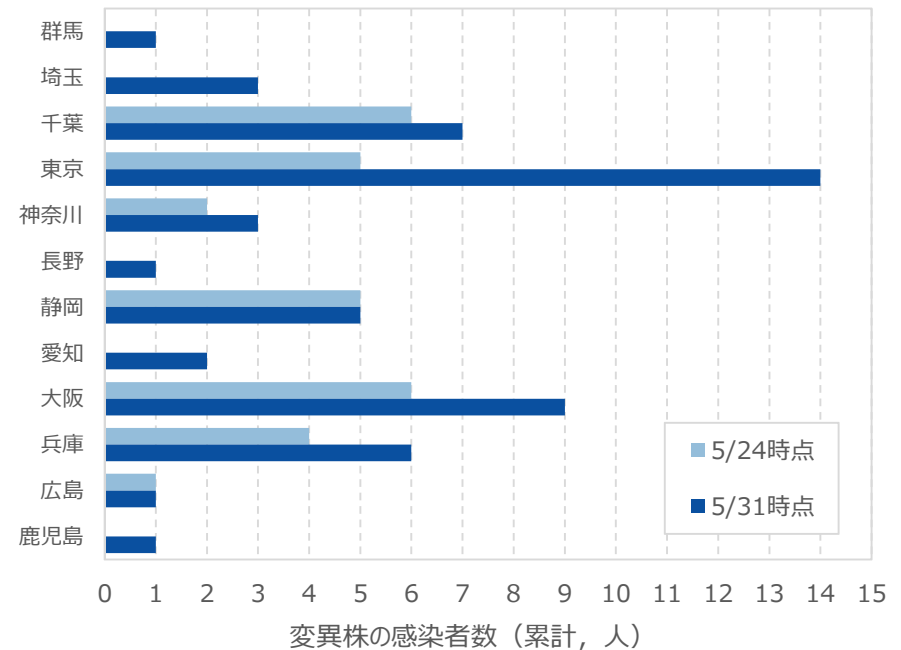
- 全国のインド型変異株(B.1.617系統・デルタ株等)の感染者数が増加
 - 5/31時点で全国累計53例。前週(5/24時点:29例)から24例増加。累計確認数で南アフリカ型を超過
 - 首都圏、近畿圏を中心に感染者数が増加。群馬、長野、静岡、愛知、広島、鹿児島など地方でも確認

全国の変異株感染者数(累計)



(注)6/3時点集計値(直近データは5/31)
 (出所)厚生労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

都道府県別のインド型変異株感染者数(累計)

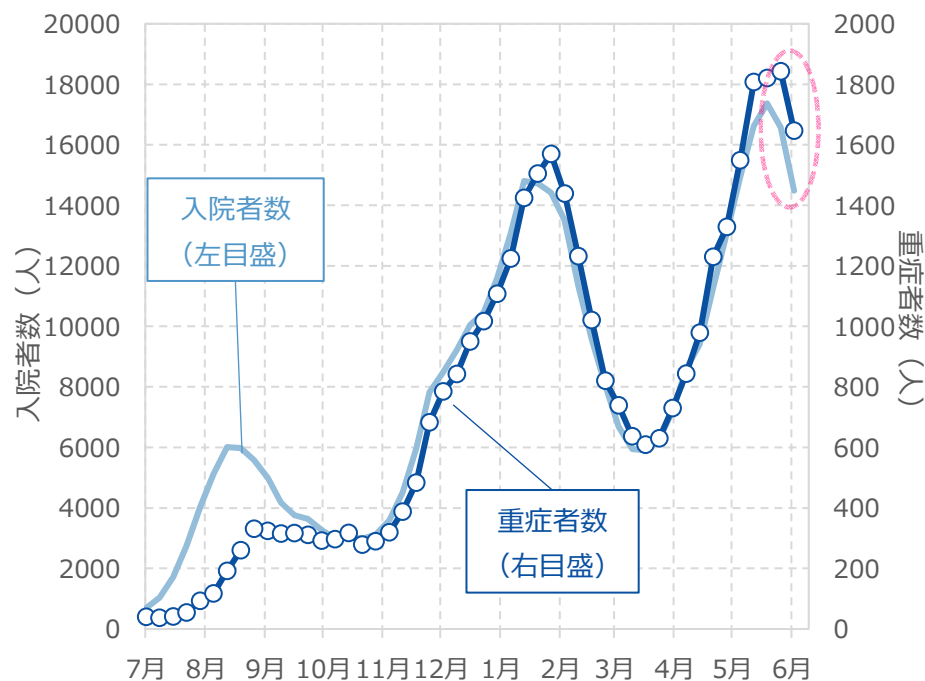


(注)5/31時点。B.1.617系統変異株(デルタ株等)
 (出所)厚生労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本：入院者数は大幅減。重症者数も減少に転じる

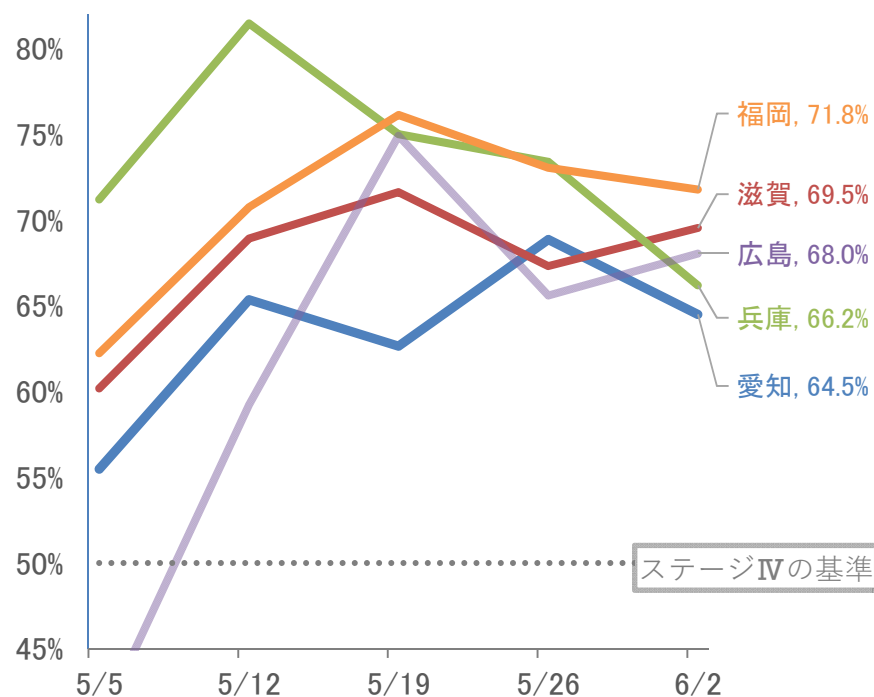
- 6/2時点の全国入院者数は14,482人(前週比▲2,099人)と減少続く。重症者も1,647人(同▲196人)と減少
 - 入院病床使用率が50%を上回る(ステージⅣ)都道府県数は前週比▲11の9道府県まで減少
 - 沖縄は入院病床・重症病床ともほぼ満床であることに加え、新規感染者数も増加基調が続いており6/20の緊急事態宣言解除は厳しい状況
 - また相対的に病床使用率が高い愛知、滋賀、兵庫(重症)、広島、福岡の改善状況にも要注意

全国の入院者数と重症者数



(注)重症者数は人工呼吸器・ECMO使用に加えICU患者も含む国基準
(出所)厚生労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

愛知・滋賀・兵庫・広島・福岡の病床使用率

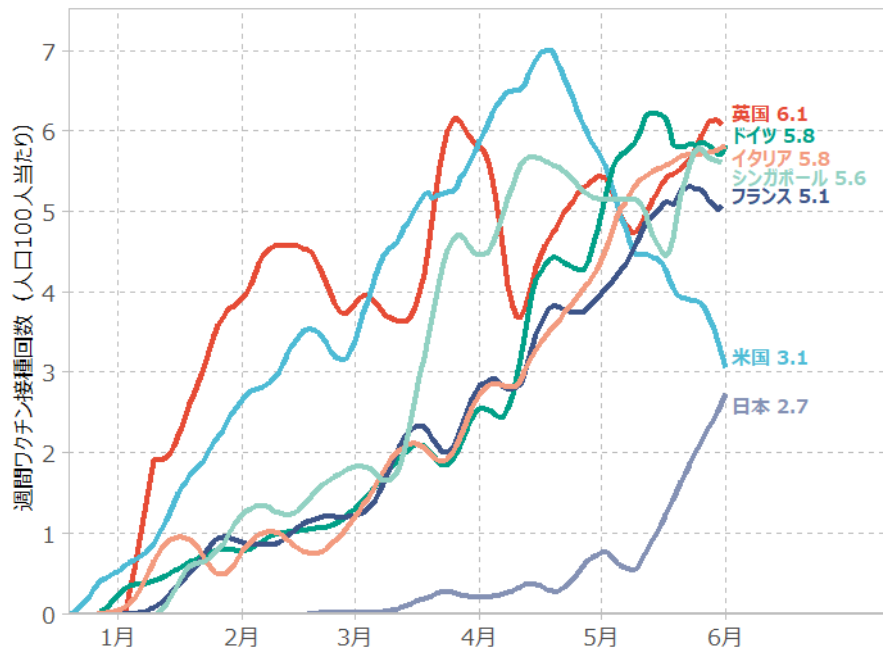


(注)兵庫は重症病床使用率、その他は入院病床使用率
(出所)厚生労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(2)世界のワクチン接種動向：欧州主要国のワクチン普及が一段と進展

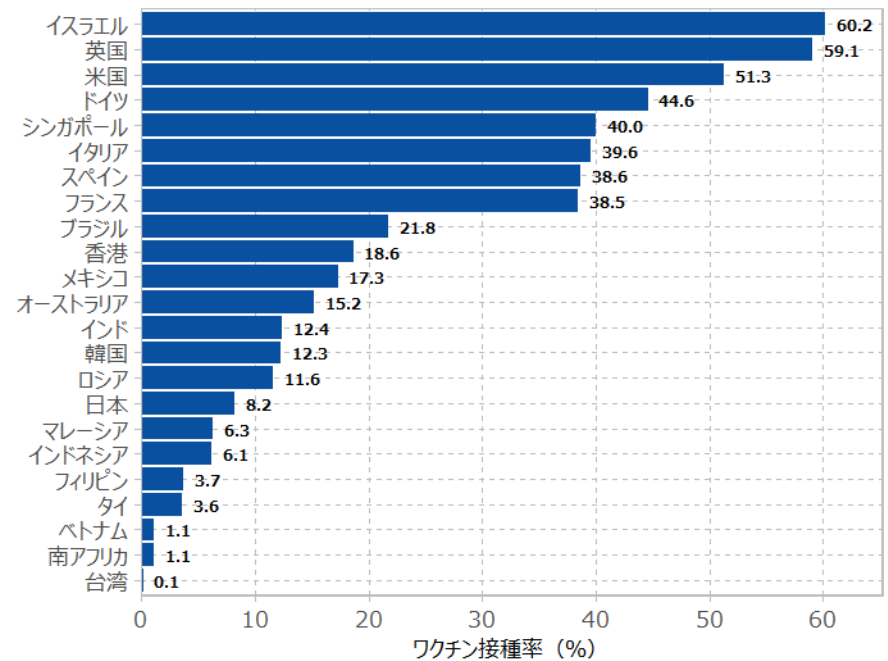
- 海外では、欧州主要国やシンガポールで接種が順調に進捗
 - 欧州主要国とシンガポールは人口100人当たり週間5～6回と速い接種ペースを維持
 - 一方、米国は接種ペースが更に減速。人口100人当たり週間3.1回まで鈍化し、日本(同2.7回)との逆転も間近
 - 米国におけるワクチン未接種者の接種意向は4月末時点で46%に低下(2月末時点:65%)。接種率が同程度の英国(4月末時点:77%)に比べ接種意向が弱く、米国のワクチン普及の重石に

国別の人口100人当たり週間ワクチン接種回数



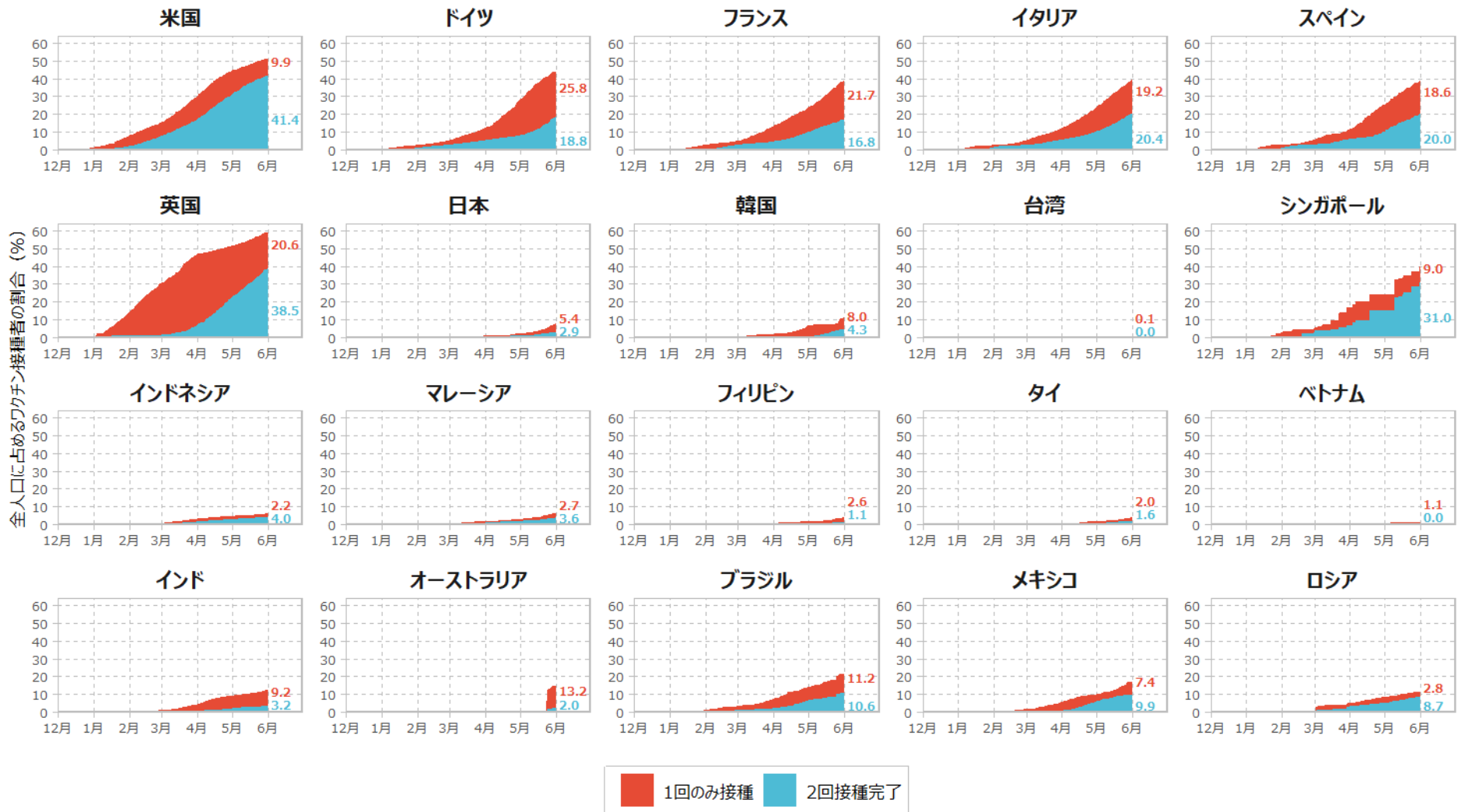
(注)6/3時点集計値(直近データは6/1)
(出所)Our World in Dataより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

主要国のワクチン接種率(少なくとも1回接種した割合)



(注)6/3時点集計値(直近データは6/1)
(出所)Our World in Dataより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考)世界のワクチン接種動向:主要国のワクチン接種率の推移

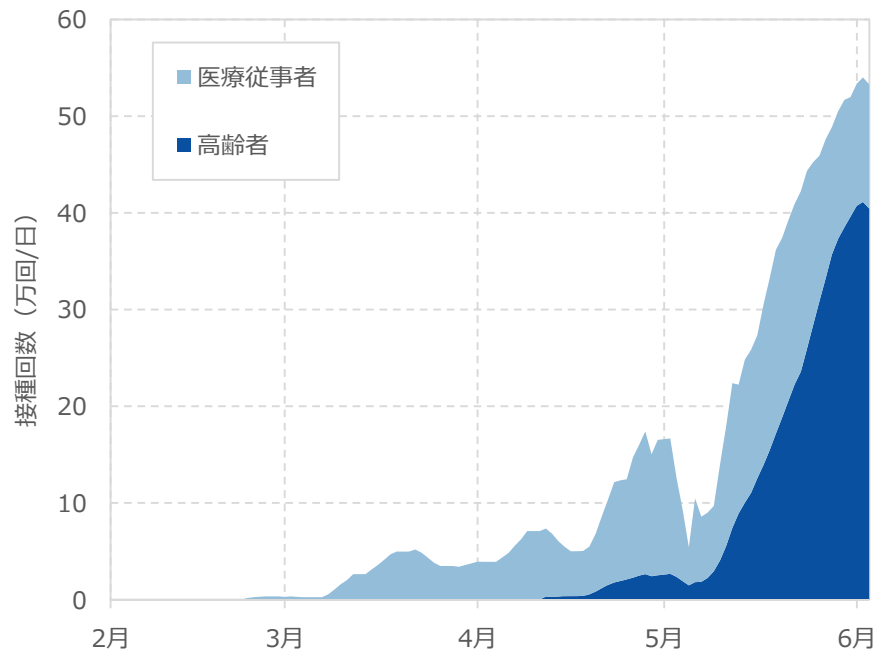


(注)6/3時点集計値(直近データは6/1)。オーストラリアはデータに断絶がある点に留意
 (出所)Our World in Dataより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本: ワクチン接種回数は足元で1日当たり平均50万回に到達

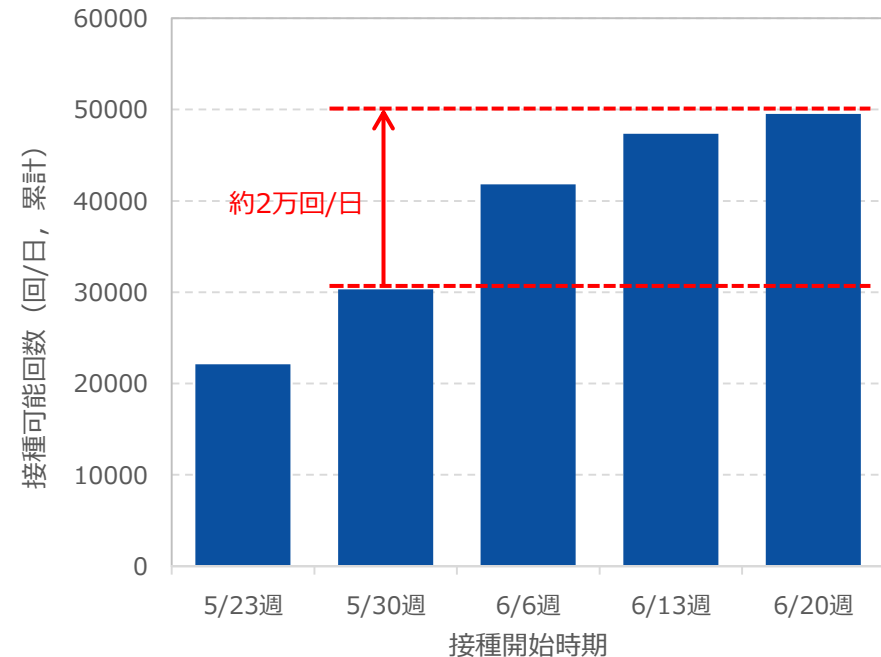
- ワクチン接種回数(7日移動平均値)は6/3時点で1日当たり53万回(週当たり373万回)に
 - 高齢者が40万回/日(前週:33万回)と大幅に加速。医療従事者は13万回(前週:14万回)と普及に伴いやや減速
- 今後は、接種人員拡充、会場増設、企業・大学接種の開始などにより、6月後半にかけ一段と加速する見込み
 - 自治体による大規模接種会場の増設により、今後6/20週までに接種可能回数が約2万回/日増加へ
 - 企業・大学の「職域接種」は、6/21以降に従業員1,000以上の企業から開始される方針

日本のワクチン接種ペース



(注)6/4時点集計値(直近データは6/3)。7日移動平均値
(出所)厚生労働省、首相官邸より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

大規模接種施設の接種キャパシティ(累計)



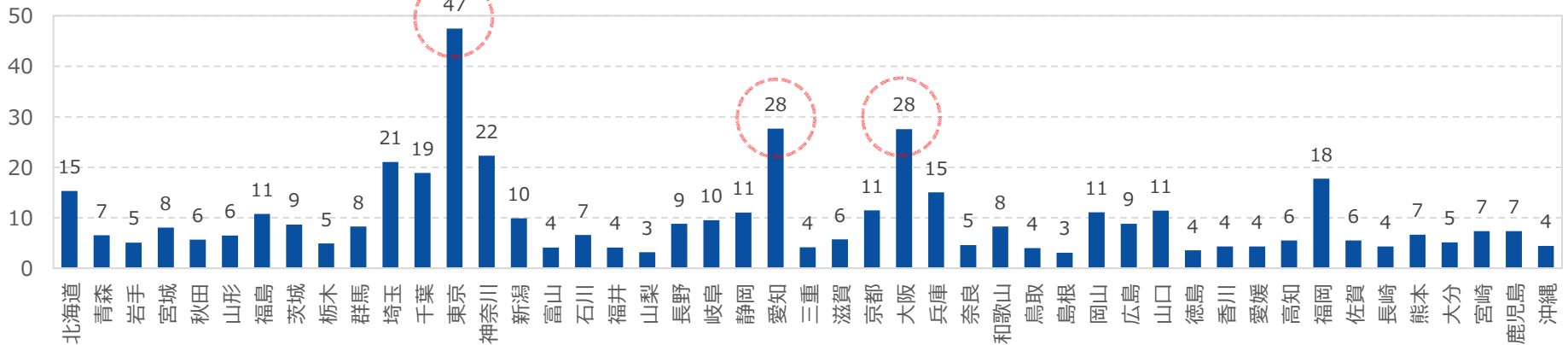
(注)防衛省・自治体設置の大規模接種施設を独自集計したもので、全数調査ではない
(出所)防衛省、自治体ウェブサイト等より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(参考) 日本: 都道府県別の高齢者ワクチン接種動向 (5/30時点)

- 高齢者の1回目接種率は和歌山、高知、鳥取、佐賀、山口など西日本の地方部を中心に先行

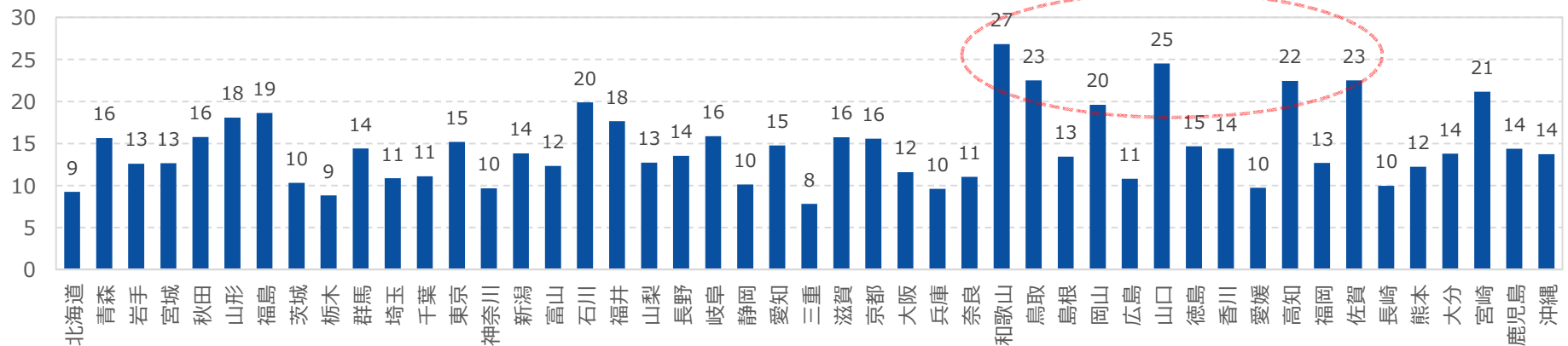
高齢者の1回目接種回数(累計)

(1回目接種回数の累計値, 万回)



高齢者のうち少なくとも1回接種した割合

(少なくとも1回接種した人の割合, %)



(出所) 厚生労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

2. (1) 米国:消費は5月末にかけて引き続き順調に回復

- 高頻度データから、5月末にかけての消費は、サービスを中心に回復が継続と確認。見通しとも整合的な動き
 - 外食予約件数は5月後半に改善が加速。足元ではコロナ前(2019年)と同水準まで回復
 - NY州・NJ州(5/19)は収容上限を撤廃。6月中旬にはCA州も全ての営業制限を解除する方針
- 5月ページブック(地区連銀経済報告)においても、外食・レジャーの急回復を示唆するコメントが相次ぐ
 - 先行きについても、夏以降の旅行・イベントに対する需要増やばん回消費を指摘する楽観的なコメント

外食予約件数



ページブック:接客サービスの先行きに関するコメント

連銀	コメント
ボストン	今秋に予定されている主要な屋外イベントへ(ボストンマラソン等) 大勢の来客が見込まれる
リッチモンド	グループ旅行に対する問い合わせが増加
アトランタ	今年後半に予定されている出張や集会、イベントに対する 予約が増加している
セントルイス	社会的距離などの緩和に伴い、親たちが、 コロナ禍で見送った子供たちのレジャー体験に支出する準備を始めている との指摘
ダラス	旅行会社による 数カ月先の航空座席予約が増加

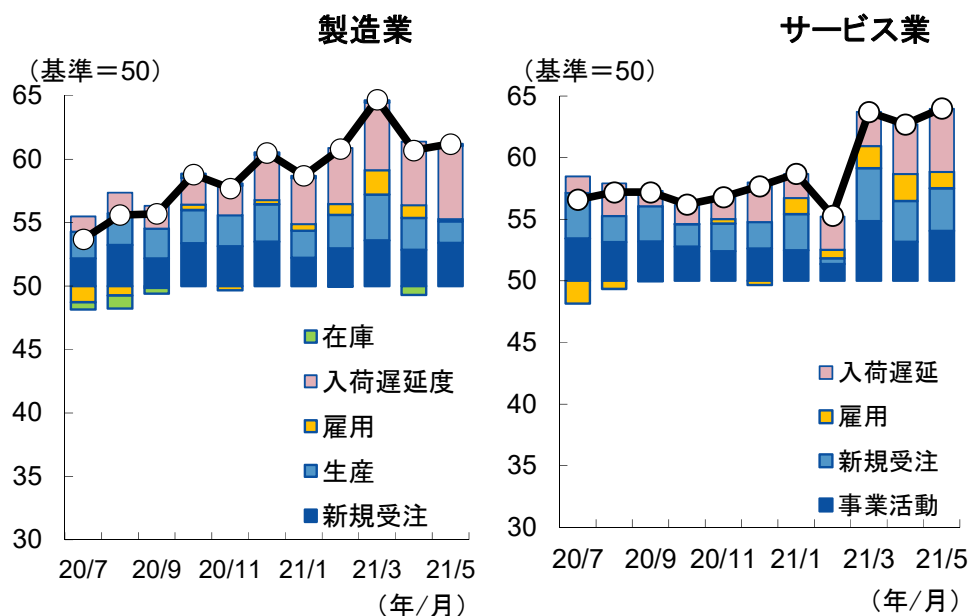
(出所)OpenTableより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(出所)FRBより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

米国：好調な需要に供給が追い付かない状況が継続

- 5月のISM指数は、製造業・サービス業とも60超の高水準。新規受注指数が一段と上昇し、需要は好調な模様。一方、入荷遅延指数の上昇、雇用指数の低下は、供給制約が引き続き強いことを示唆
 - 企業からは、人手・部材の不足、物流混乱等、供給面への懸念が目立った。需要に関して悲観的なコメントは無し
 - 幅広い部材で不足が指摘されている状況(化学製品の不足感の強まりは、2月寒波の影響の残存を示唆)
 - 結果、受注を捌ききれず、受注残指数は一段と上昇、顧客在庫指数は低下し過去最低を更新

ISM指数の内訳



(出所)米サプライマネジメント協会より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

製造業が「不足」と言及した部材等

	2020												21				
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5		
衛生・医療用品	7	6	8	4	4	1	4	1	3	2	1	1	1	1			
金属	鉄鋼							1	2	3	4	5	5	5	7		
	アルミ						1	1	1	1	2	1		1	2		
	銅										1						
電気・電子	半導体									1	1	1	1	1	1		
	その他		3					4	3	1	2	2	4	3	2		
化学製品							2	1				5	9	5	9		
その他	木製品							1					3	2	3		
	プラスチック・ゴム製品												1	2	2		
	段ボール									1	1	2	2	1	1		

(注) プレスリリース資料において「不足」との言及のあった部材等をカテゴリ化したもの。各カテゴリの数値は、そのカテゴリに含まれる部材等への言及回数

(出所)米サプライマネジメント協会より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

米国：企業は供給制約が想定以上に続くことへの警戒を強める

- 5月ISM指数や5月ベージュブック(地区連銀経済報告)では、前回調査時点と比べ、供給制約が長引くことを予想するコメントが増加
 - ― あくまで企業の予想だが、夏場以降も川上・川中価格がピークアウトせず、消費財物価の上振れ要因となるリスク

今後の供給制約に関する企業のコメント

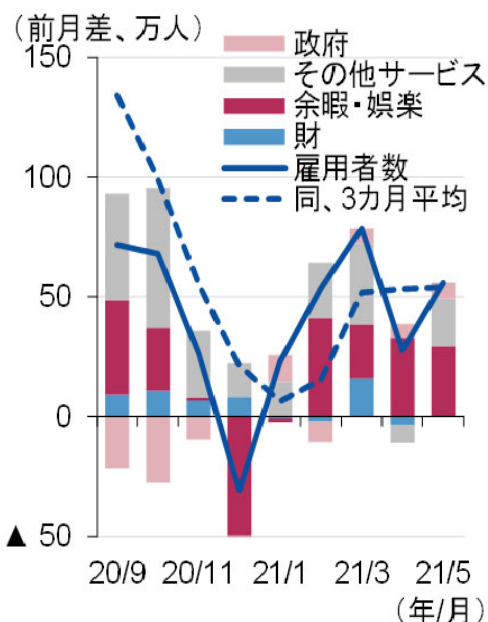
企業のコメント	
ISM (加工金属)	部材不足等が入荷遅延に繋がっており・・・こうした状況は もしかすると、今年10～12月期まで、或いは、それ以降も改善しない可能性 がある
ISM (非鉄金属)	グローバルなサプライチェーンの混乱や、南部寒波の後遺症による部材不足を踏まえると、 今年中に状況が改善する可能性は低い かもしれない
ベージュブック (Chicago、Dallas)	製造業企業は、 サプライチェーンが今年中に改善することを殆ど期待していない
ベージュブック (St. Louis)	製造業企業は、 今後数四半期のサプライチェーンについて悲観的な見方 をしている
ベージュブック (Cleveland)	回答企業は、 元々想定していたよりもサプライチェーンの改善に時間がかかるとみている ・・・回答企業の約6割は、 年後半、非労働コストが年前半並みに一段と上昇 すると予想
ベージュブック (Kansas City)	回答企業の約8割が、 供給制約が12カ月程度続く とみている
ベージュブック (Chicago)	小売業の在庫は低位。企業は、 こうした厳しい状況が今年中は続く と予想

(出所)ISM、FRBより、みずほサーチ&テクノロジーズ作成

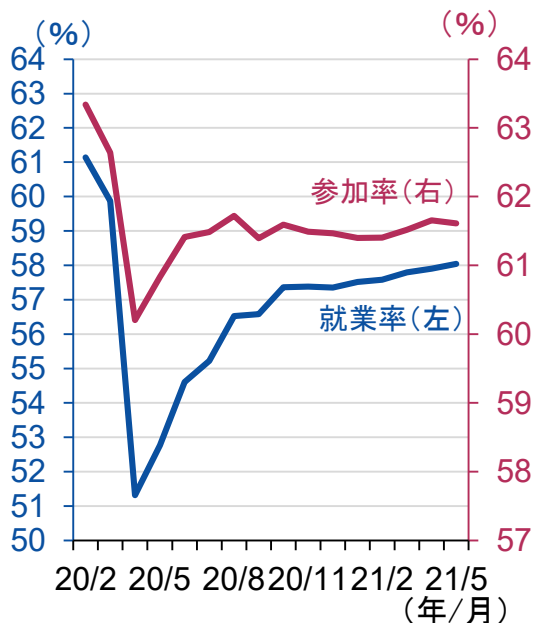
米国：5月雇用統計では4月の低調が一時的だったことを確認

- 5月の雇用者数は前月差+55.9万人(4月同+27.8万人)と伸びが加速したが、回復は道半ば
 - 業種別では余暇・娯楽が制限緩和を背景に引き続き増加、財、余暇・娯楽除くサービスも増加に転じる
 - 雇用水準はコロナ危機前比▲734万人。ここ3カ月並みのペースが続くと、水準が危機前を回復するのは来年半ば
- 幅広く労働指標をみると、求人・採用関連は大幅改善も、就業率(前月差+0.1%Pt)は小幅な改善にとどまり、労働参加率(同▲0.1%Pt)は低下。様々な失業率の改善ペースは一様でなく、黒人等が遅れる状況
 - 求人・採用関連を除くと、5月の労働指標の改善度は10~30%にとどまる。広範・包摂的な改善では課題

雇用者数



労働参加率、就業率



幅広い雇用関連指標の改善度

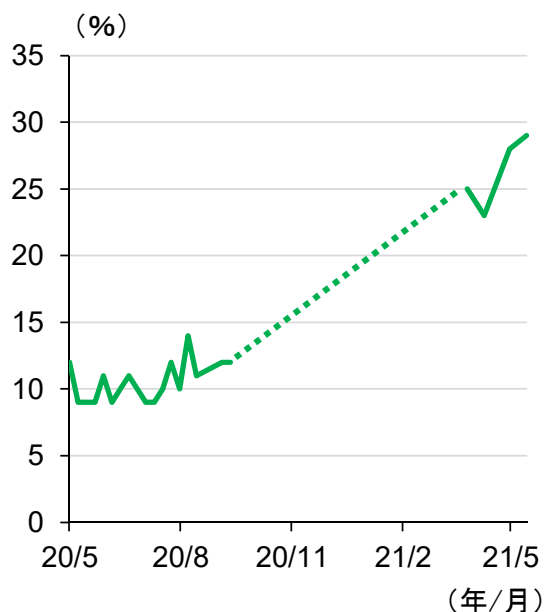
		2021				
		1	2	3	4	5
企業行動	雇用者数	2	8	16	18	24
	民間求人率	100	100	100		
	民間採用率	0	100	100		
認識	採用計画	0	25	100	100	100
	仕事の入手可能性	0	8	25	60	100
	民間離職率	100	100	100		
	求人未充足率	0	75	75	100	100
稼働率	U3：失業率	13	16	22	19	28
	黒人失業率	18	0	8	5	21
	ヒスパニック失業率	14	16	29	29	41
	高卒以下失業率	16	9	29	19	22
	U5：縁辺労働者を加味した失業率	14	17	22	19	28
	U6：経済的理由によるパート従業員を加味した失業率	13	13	21	28	32
	労働参加率	0	0	0	11	6
	就業率	3	5	11	14	16
流動性	新規失業保険申請件数	0	2	15	39	
	就職率	25	31	0	14	14

(注) 改善度は、昨年12月の水準を0(赤)、コロナ危機前の水準を100(緑)とした上で、2021年各月時点の水準を0~100の間で指数化。数字が大きいほど改善(出所)米国労働省等より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

米国：解消は夏場以降だが、人手不足の原因は徐々に緩和

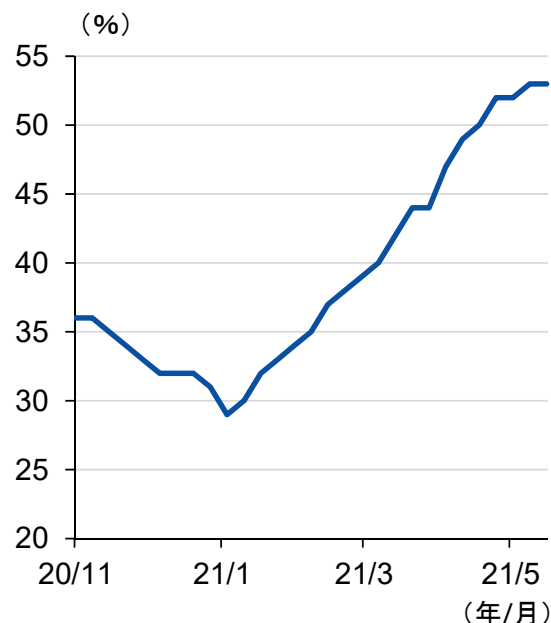
- 人手不足の背景にある、①コロナ感染懸念、②子供の世話(対面授業停止に伴うもの)、③手厚い失業給付については、いずれも足元で緩和に向かっている状況
 - ①オフィスに戻ることを「リスク無し」と捉える人は、まだ全体の30%程度だが、徐々に増加
 - 懸念払拭に向けて重要となるのは、ワクチン接種忌避者への対応(下記2つと異なり、行政命令で対応出来ず)
 - ②全米の50%の学校では対面授業が再開に。NY市等、新学期から強制的に100%対面に戻すところも
 - ③全米の30%の州が失業給付上乘せ(\$300/週)を前倒し停止。9/6には元々の期限が到来

職場でのコロナ感染懸念



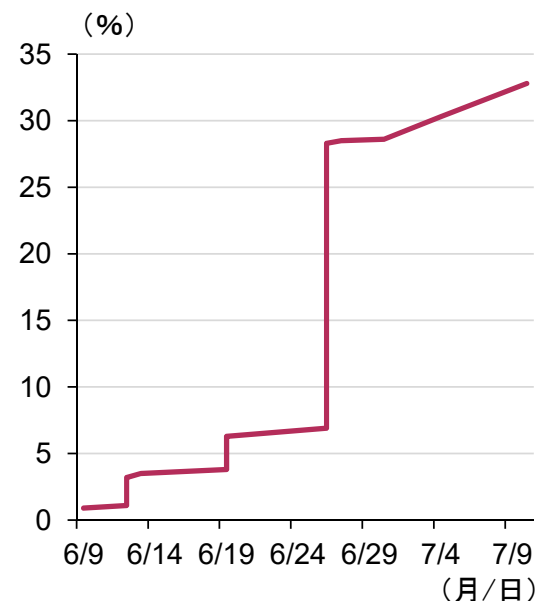
(注) 「従来の勤務場所に戻ることに健康上のリスクを感じますか」という質問に対する「いいえ」回答の割合
(出所) Ipsosより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

対面授業の再開状況



(注) 公立学校区のうち、100%対面授業を実施している学校区の割合
(出所) Return2Learn Trackerより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

失業給付上乘せ終了の前倒し状況

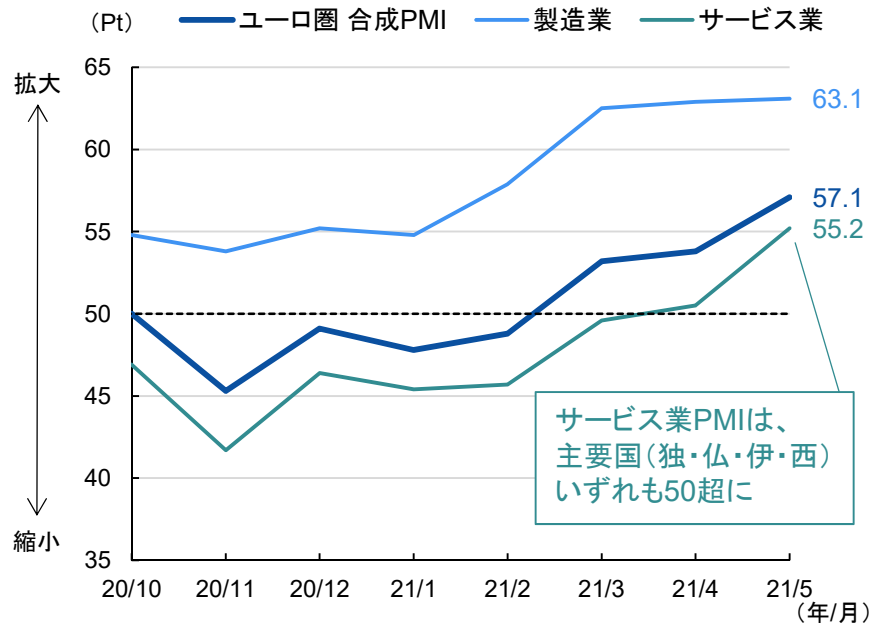


(注) 前倒し終了する州のウェイト(失業者ベース)を実施予定の日程ごとに累計したもの
(出所) 各州政府、米国労働省より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(2) 欧州：サービス業が5月合成PMIを押し上げ。今後、観光業の回復が追い風に

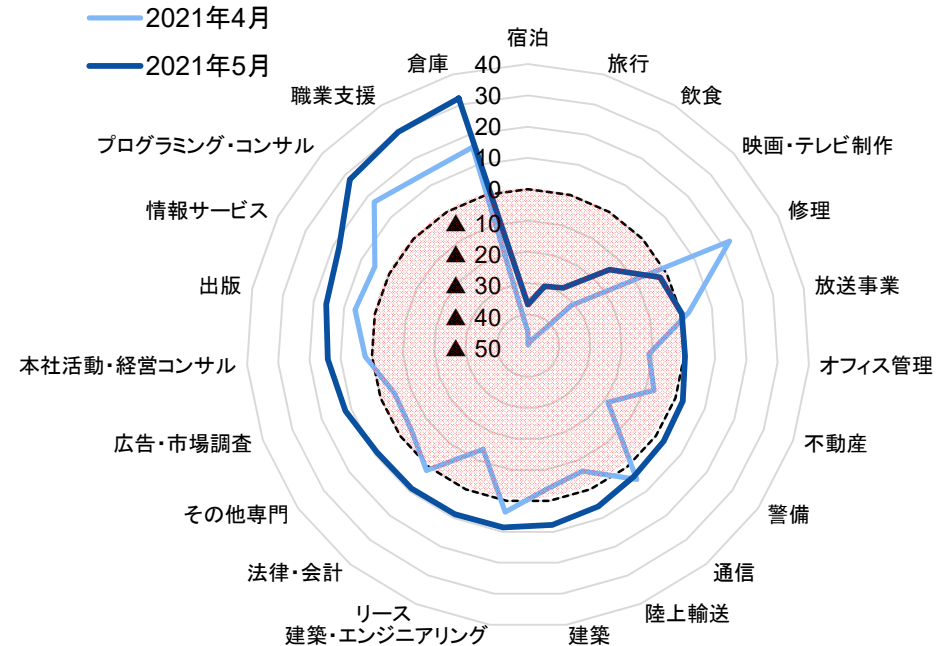
- 5月のユーロ圏合成PMI(確報)は57.1と前月(53.8)から上昇し、コロナショック後の最高水準に。ワクチン普及・主要国での行動制限緩和を背景にサービス業(50.5→55.2)が改善し、全体を押し上げ
 - 製造業は供給制約や投入コスト上昇が重石となったものの、旺盛な需要から63.1と高水準を維持
- 業種別には、欧州委員会の調査によると、宿泊や飲食など対人サービス業以外は、各業種で景況感がプラスに
 - 対人サービス業は低迷が続いているが、先行きは制限緩和の進展に伴って改善する公算大

ユーロ圏：PMI



(注)50が景況判断の節目
(出所)Refinitivより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

ユーロ圏：サービス業の業種別現況判断DI



(注)現況判断DIは、ゼロが景況判断の節目
(出所)欧州委員会より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

欧州：5月物価は+2%に上昇。サービス物価上昇は観光業回復の下押しリスクに

- ユーロ圏の5月消費者物価は、前年比+2.0%（速報値）と、エネルギー価格上昇を主因に2018/10以来の水準に
 - 食品物価は前年比+0.6%と前月から横ばい。コア物価は同+0.9%と、1%近傍にとどまる
- 4月の生産者物価（エネルギー除く。同+3.5%）は、中間財、食品価格上昇が寄与
 - 食品価格の上昇は、一部の主要国での、外食サービスの再開に伴う需要急増が背景に
- 経済再開は夏場にかけて本格化するため、当面、中間財・外食向け食品価格は上昇する見込み
 - 夏場の観光関連サービス消費の回復を下押しするリスクに注意要

ユーロ圏：生産者物価、消費者物価

外食サービスの低迷に伴い、食品価格は低迷

部品不足等、外食再開を背景に、川上の生産者物価が上昇

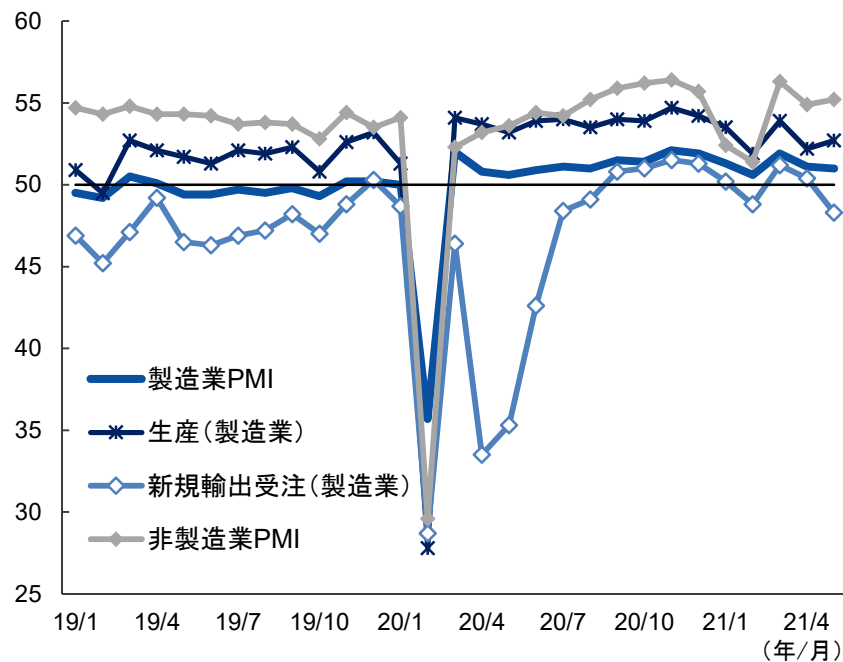
(前年比、%)	2020年												2021年				2019年 平均
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
中間財	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 1.8	▲ 2.7	▲ 2.9	▲ 2.5	▲ 2.0	▲ 1.8	▲ 1.6	▲ 1.3	▲ 0.6	▲ 0.1	+ 1.1	+ 2.5	+ 4.4	+ 6.9	+ 0.1
食品	+ 2.6	+ 2.9	+ 3.2	+ 2.3	+ 1.3	+ 0.7	+ 0.4	+ 0.4	+ 0.2	+ 0.3	+ 0.2	▲ 0.5	▲ 0.2	+ 0.1	+ 1.1	+ 2.1	+ 1.3
耐久消費財	+ 1.4	+ 1.4	+ 1.3	+ 1.3	+ 1.3	+ 1.3	+ 1.6	+ 1.5	+ 1.3	+ 1.2	+ 1.1	+ 1.3	+ 1.2	+ 1.2	+ 1.4	+ 1.7	+ 1.4
非耐久消費財	+ 2.1	+ 2.4	+ 2.4	+ 1.7	+ 0.9	+ 0.6	+ 0.4	+ 0.4	+ 0.2	+ 0.1	0.0	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.4	+ 0.4	+ 1.1	+ 1.0
消費者物価	+ 1.4	+ 1.2	+ 0.7	+ 0.3	+ 0.1	+ 0.3	+ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.3	▲ 0.3	+ 0.9	+ 0.9	+ 1.3	+ 1.6	+ 1.2

(出所)Eurostatより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(3) 中国：製造業の景況感は、供給制約や新規受注の一服感をうけ小幅に低下

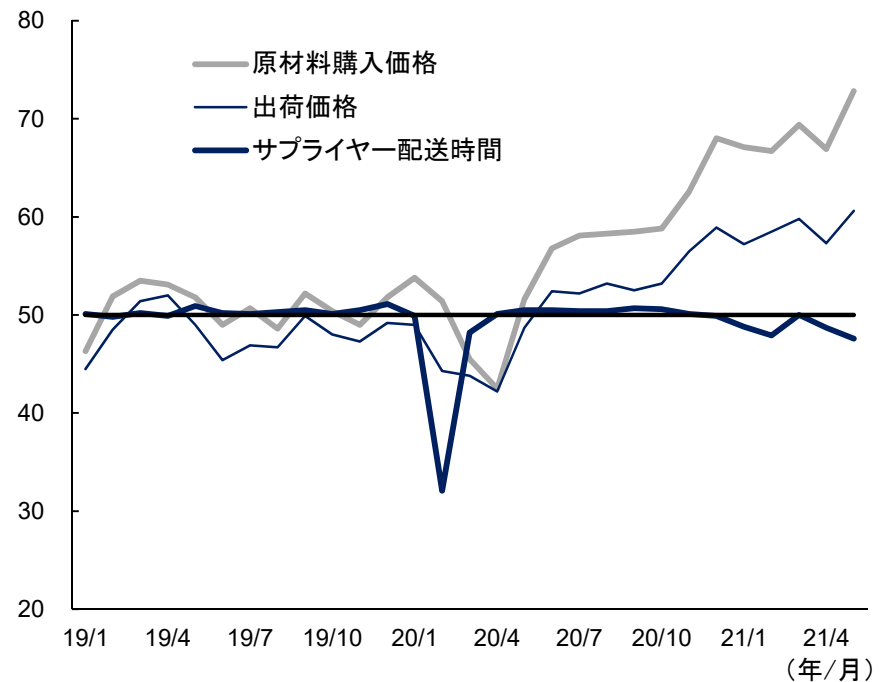
- 5月の製造業PMIは51.0と、前月(51.1)より小幅に下落
 - 生産は改善も、資源等原材料価格の上昇や、サプライヤー配送時間の長期化等の供給面での制約が足かせに
 - 新規輸出受注は3カ月ぶりに節目を下回り、増勢が続いていた輸出に、今後、一服感が強まるとみられる
- 非製造業PMIは55.2と、前月(54.9)より改善。引き続き高水準を維持
 - インフラ投資の進捗を背景に建設業が改善。また、感染抑制により国内観光需要に改善がみられたこと等により、運輸、宿泊、娯楽サービスといった接触型業種では、回復ペースを維持

製造業・非製造業PMI(国家統計局版)



(出所) 国家統計局、CEIC Dataより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

製造業PMI(国家統計局版、価格・サプライヤー指数)

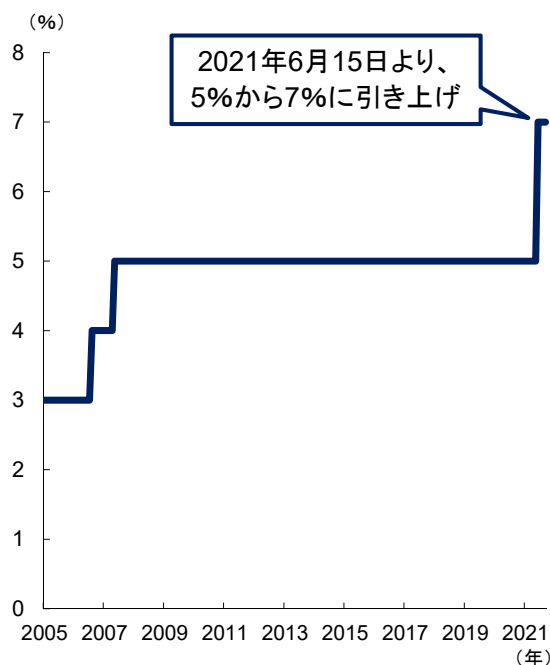


(出所) 国家統計局、CEIC Dataより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

中国：人民銀は外貨預金準備率を引き上げ。元高抑制姿勢を鮮明化

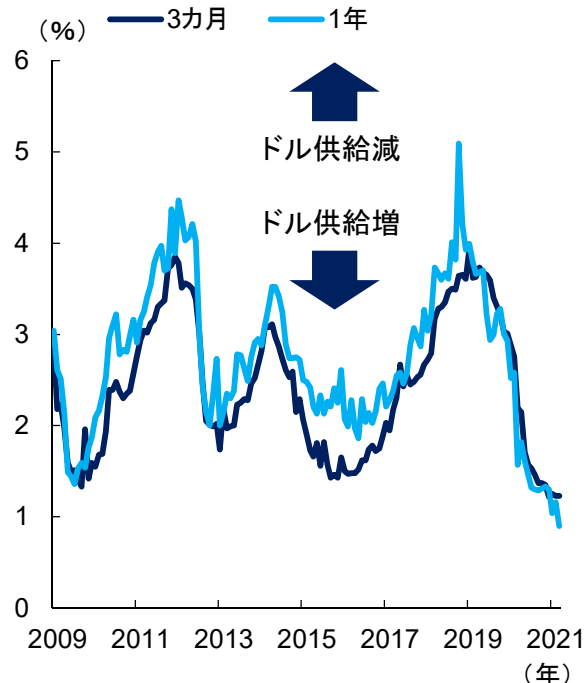
- 人民銀は5/31、外貨預金準備率を6/15より現行の5%から7%に引き上げると発表
 - 外貨預金準備率の調整は2007年5月以来。外貨の流動性を引き締め、一方的な元高進行に歯止めをかける狙い
- 5/31の発表以降、人民元対米ドルレートは、緩やかな元安に転じる
 - 人民銀の措置により、過度な元高は一時的に緩和されるも、米中金利差等から一定の元高圧力は残存。今後、人民銀は急速な元高に対して、仲値の元安方向への設定といった政策ツールで対応する見込み

外貨預金準備率の推移



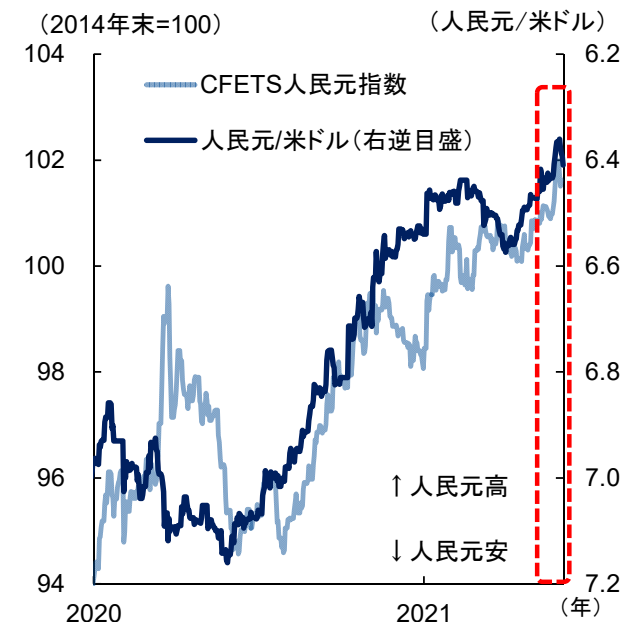
(出所) 中国人民銀行、各種報道より、みずほリサーチ&テクノロジー作成

ドル平均貸出金利の推移



(出所) 中国人民銀行、CEIC dataより、みずほリサーチ&テクノロジー作成

人民元対米ドルレート

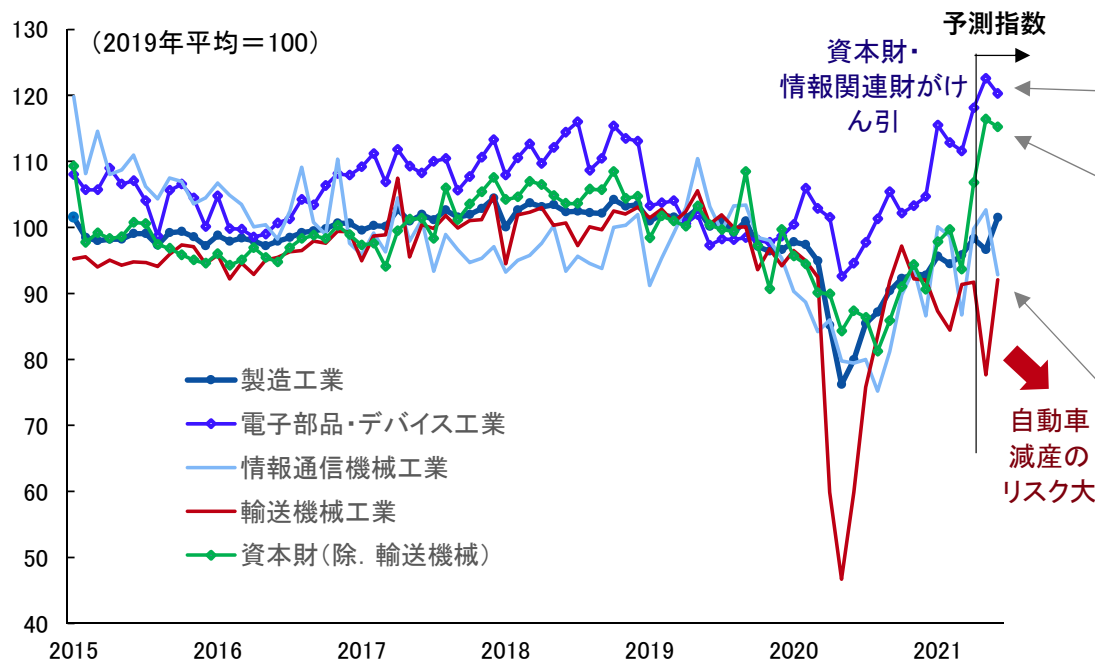


(注)CFETS人民元指数はみずほリサーチ&テクノロジーによる試算値。日次データ。直近は2021年6月4日
(出所)CFETS、bloombergより、みずほリサーチ&テクノロジー作成

(4) 日本: 足元強い生産も、先行きは自動車減産が響き、増勢一服を見込む

- 4月の鉱工業生産指数は、前月比+2.5%(3月:同+1.7%)と2カ月連続のプラス
 - 米中の旺盛な設備投資需要や国内外の堅調なIT需要を背景に、資本財・情報関連財が増産をけん引
- 先行きは資本財・情報関連財の回復基調は継続する見込みだが、半導体不足による自動車の減産が全体を下押し
 - 生産計画(5月:前月比▲1.7%、6月:同+5.0%)通りならば、4~6月期の鉱工業生産は前期比+3.7%とプラスを維持する計算に。しかし、半導体不足の影響で自動車生産が計画対比下振れるとみられ、4~6月期の鉱工業生産は前期比横ばい程度に着地すると予測

主な業種・財別の生産実績・予測指数



○電子部品・デバイス工業

国内外で堅調なオンライン需要を背景に、モス型半導体集積回路(メモリ)、固定コンデンサ、電子回路基板などが増産

○資本財(除.輸送機械)

世界的な半導体需要の高まりを背景に、半導体製造装置はコロナ禍前より一段高い水準で推移。国内外での省人化投資、米国での住宅投資の増加を受け、産業用ロボット、シヨベル系掘削機械などが増産

○輸送機械工業

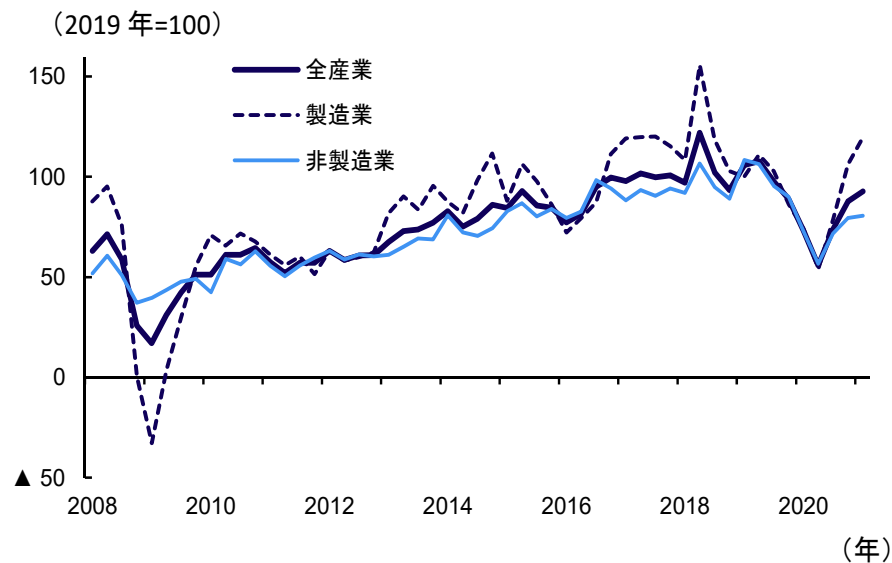
6月の予測指数(前月比+18.5%)には、5月中旬に自動車メーカー各社が発表した減産計画は未反映の可能性が高く、自動車生産は下振れるリスク

(出所) 経済産業省「鉱工業生産指数」より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本：製造業の経常利益は好調。設備投資も年後半にかけ回復の見込み

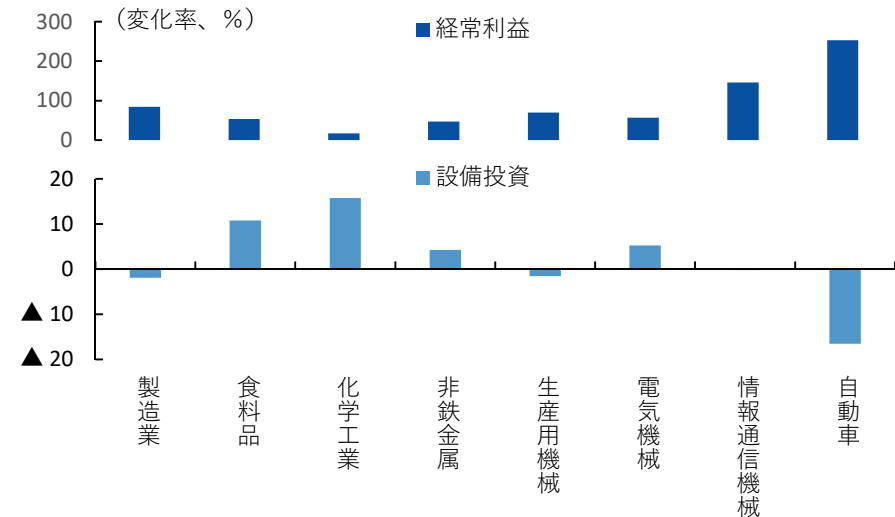
- 経常利益は引き続き製造業中心に持ち直し
 - 1～3月期の法人企業統計・経常利益は前期比+5.6%と増加。製造業はコロナ禍前(2019年)対比119%に回復
- 足元の設備投資は業績好調な製造業の中でも二極化。ただし、年後半にかけては全般的に底堅い見込み
 - EVに多く搭載されるパワー半導体や、半導体素材の需要増により電気機械、化学工業等の投資は積極化
 - 一方、自動車・同付属品は昨年4～6月期の業績悪化の影響で設備投資が減少も、一時的との見方

法人企業統計・経常利益



(出所) 財務省「法人企業統計」より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

業種別経常利益・設備投資(年度前半～後半の変化)

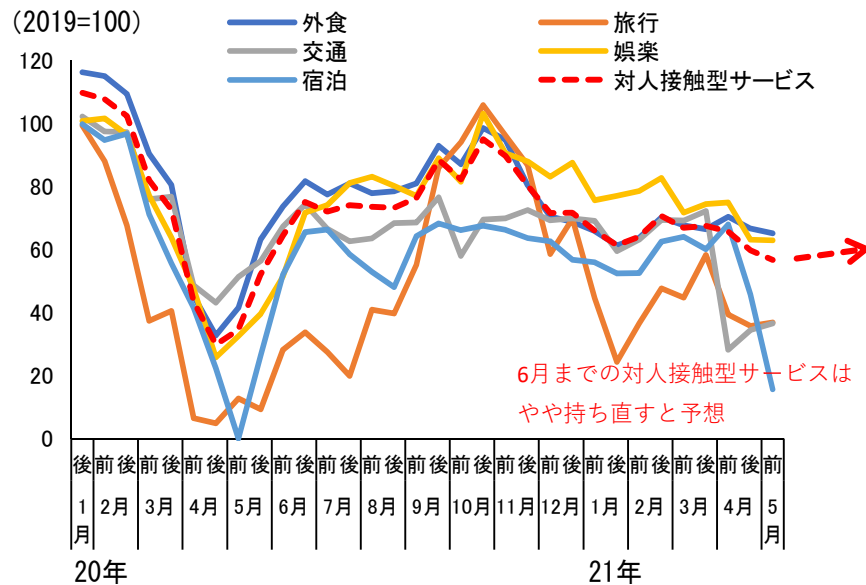


(注)ソフトウェア含む、みずほリサーチ&テクノロジーズによる季節調整値
(出所) 財務省「法人企業統計」より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

日本：個人消費は全体として不冴えな状況が続く

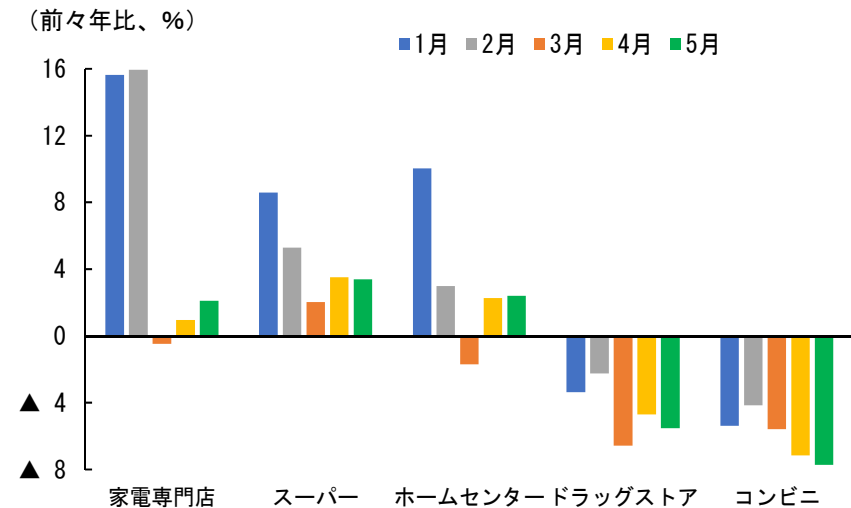
- 5月前半の対人接触型サービス消費は、第3回緊急事態宣言を受けて減少。第2回宣言時をやや下回る水準
 - 今後、足元の水準で横ばいが続くとすると、4～6月期全体では前期比▲11%に。実際には、モビリティ底打ちを踏まえると5月後半～6月にやや持ち直すとみられ、見通し(同▲9%)対比ほぼオンラインになると予想
- 財消費は、自動車や百貨店を中心に4～6月期は弱含む見込み
 - 休業要請・外出自粛にともなう百貨店等の売上減少、半導体不足に伴う自動車販売の減少が背景
 - ただし、家電・家具・食料はコロナ前を上回る堅調さを維持しており、業態・品目ごとにばらつきがある点に留意

5月前半の対人接触型サービス消費



(注)参考系列。みずほリサーチ&テクノロジーズによる季節調整値
(出所)JCB/ナウキャスト「JCB消費NOW」より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

小売販売額指数(POSデータ)の推移

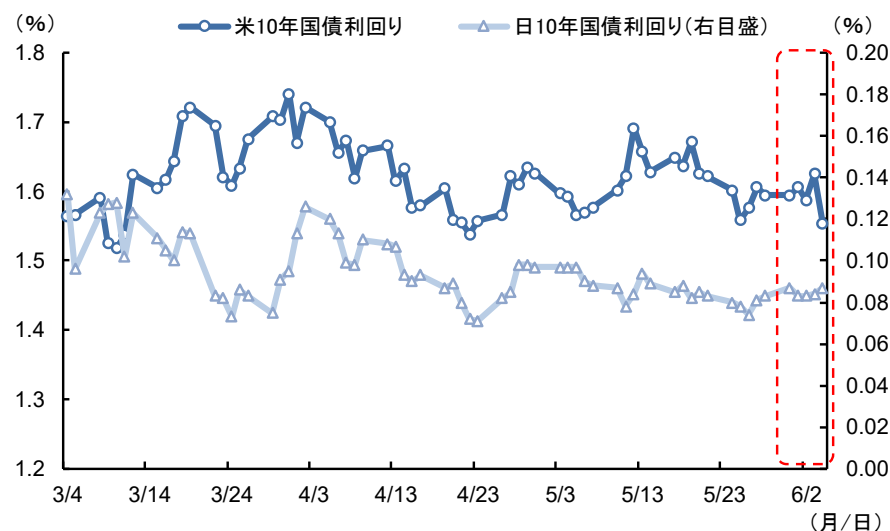


(注)4月までは月次データ。5月については、5月30日までの週次データの前々年比
(出所)経済産業省「METI POS小売販売額指標」より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

3. (1)内外金利:米金利は雇用統計を受け低下。今週はECBと米CPIに注目

- 米10年国債利回りは、雇用統計を受け、早期のテーパリング期待が後退し1.55%まで低下
 - 5月の米非農業部門雇用者数は+55.9万人と増加加速も、市場予想(+67.5万人)を下回る
 - 独10年国債利回りは、先月下旬以降ECB高官から「早期の緩和縮小は時期尚早」との発言が相次ぎ、上昇一服
- 米、独の10年国債利回りは横ばい圏での推移を予想
 - ECB政策理事会(6/10)では、ECBは緩和姿勢を継続し、3月に加速したPEPP買入れペースを維持する見込み
 - 6/10に米国の5月CPIが発表されるが、ある程度のインフレは織り込まれており、金利の大幅な上昇は見込み難い

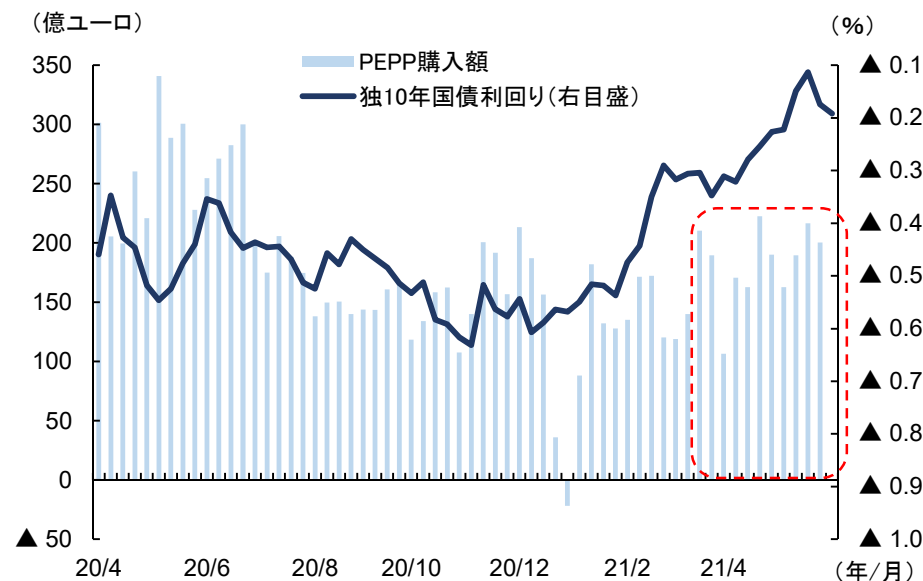
日米10年国債利回りの推移と今週の予想



項目	5/28終値	6/4終値	変化幅	今週の予想レンジ
米10年国債(%)	1.59	1.55	▲0.04	1.50 ~ 1.70
日10年国債(%)	0.083	0.087	+0.004	0.05 ~ 0.15

(出所) Bloombergより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

独10年国債利回りとPEPP買入れ額



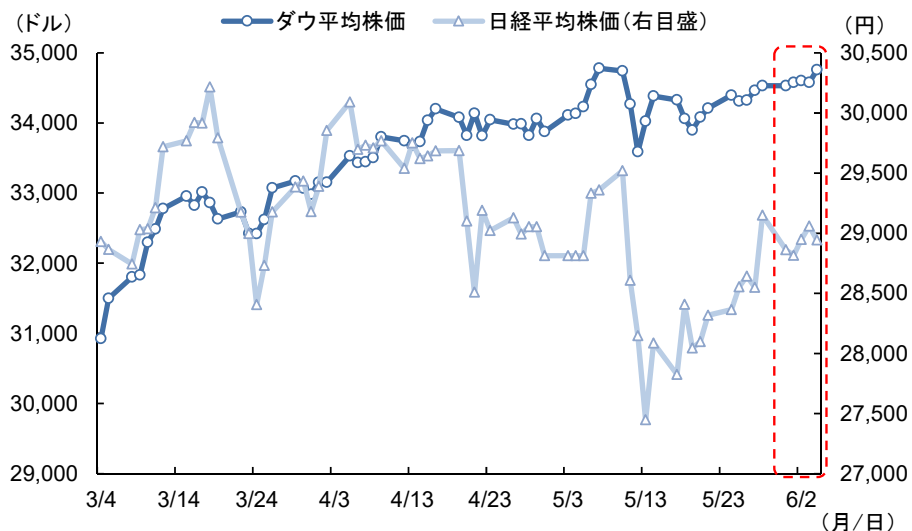
(注)PEPPとは、パンデミック緊急購入プログラムのこと。PEPP買入れ額は、償還分を差し引いた5/28までの週次の純購入額。独10年国債利回りは週平均値(6/4まで)

(出所) Bloombergより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(2) 内外株式: 堅調な経済指標や早期の金融緩和縮小への懸念後退から上昇

- 先週の米国株式市場は、米ISM指数など堅調な経済指標を受けて、景気敏感株が底堅く推移。週初は弱含んでいたグロース株も、米非農業部門雇用者数が市場予想を下回り、早期の金融緩和縮小への懸念が後退したことで反発
 - 日経平均株価は、国内でのワクチン接種ペースの加速期待から景気敏感株が底堅く推移したものの、週末の米雇用統計発表を控えて様子見姿勢が強まり、2万9,000円を割れて越週
- 今週の内外株式は、米消費者物価(6/10)が発表されるが既にある程度のインフレは織り込まれており、株価は堅調に推移すると予想

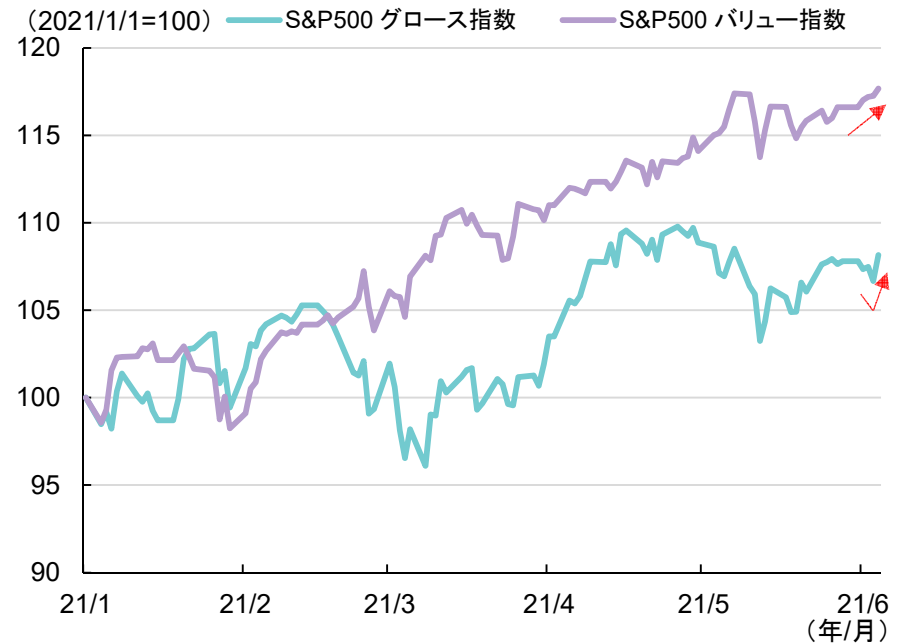
日米株価と今週の予想



項目	5/28終値	6/4終値	変化幅	今週の予想レンジ
ダウ平均(ドル)	34,529	34,756	+227	34,400 ~ 35,200
日経平均(円)	29,149	28,942	▲208	28,500 ~ 29,800

(出所) Bloombergより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

S&P500 グロース指数・バリュエーション指数

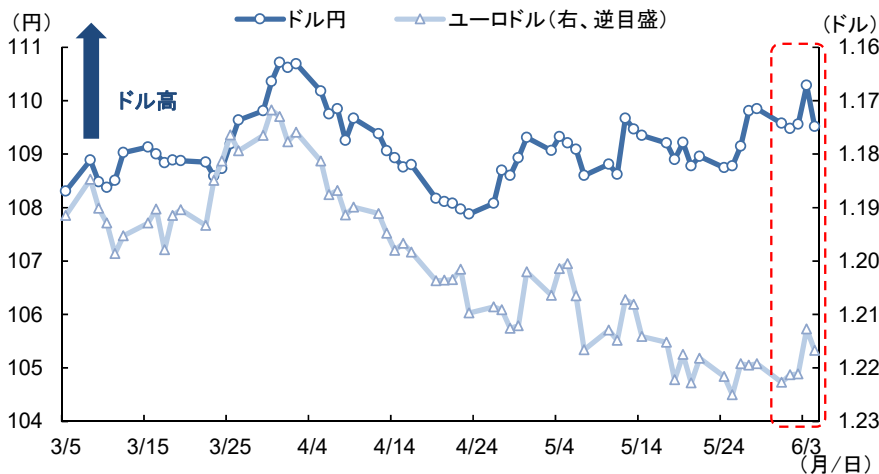


(出所) Refinitivより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

(3) 為替：米5月雇用統計の結果を受け、ドル売りが進行

- 先週のドル円相場は、米5月雇用統計を受けドル売りが進行
 - ドル円相場は労働市場の回復期待から1ドル＝110円台前半まで円安進行するも、雇用統計の結果を受け米長期金利が低下、日米金利差の縮小を背景にドル売りが進行
- 今週はドル円相場、ユーロドル相場ともに横ばい圏を予想
 - 今週は米5月CPIの公表が予定されている(6/10)が、すでに市場では高めの伸びが予想されていることから、米金利が大きく上昇する展開は想定せず。ドル高圧力は高まらず、横ばい推移を見込む

ドル円・ユーロドル相場と来週の予想レンジ

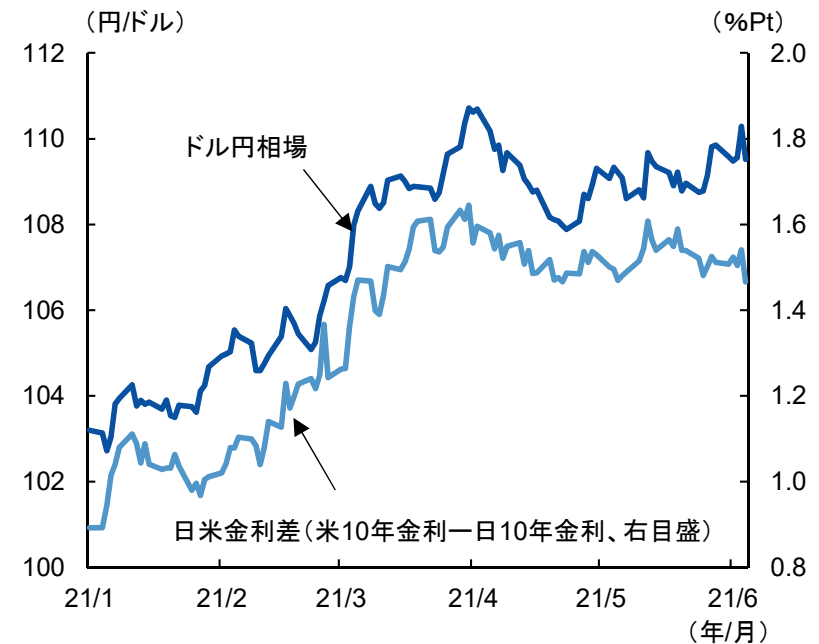


項目	5/28終値	6/4終値	変化幅	今週の予想レンジ
円/ドル	109.85	109.52	▲0.33	108.80 ~ 110.30
ドル/ユーロ	1.219	1.217	▲0.003	1.210 ~ 1.225

(注) 表中の変化幅はプラスの場合、ドル高円安、ユーロ高ドル安。マイナスの場合、ドル安円高、ユーロ安ドル高

(出所) Bloombergより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

ドル円相場と日米金利差



(出所) Bloombergより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料1-1 主要経済指標一覧(実績・先週発表分)

【先週発表分】

日付	経済指標等	今回実績	予想	前回	
5/31(月)	日 鉱工業生産(4月速報) 前月比	+2.5%	+3.9%	+1.7%	
	百貨店・スーパー販売額[既存店](4月速報) 前年比	+15.5%	+15.5%	R↓ +2.9%	
	小売業販売額(4月速報) 前年比	+12.0%	+15.2%	+5.2%	
	消費動向調査(5月) 消費者態度指数	34.1	33.0	34.7	
	新設住宅着工戸数(4月) 季調済年率	88.3万戸	85.8万戸	88.0万戸	
	2年利付国債入札：最高利回り ▲0.124%、平均利回り ▲0.125%、入札倍率 3.97倍				
	中 製造業PMI(5月)	51.0	51.1	51.1	
米 非製造業PMI(5月)	55.2	55.1	54.9		
米 メモリアルデー(米国休場)					
6/1(火)	日 法人企業統計(1~3月期) 経常利益[全産業] 前年比	+26.0%	N.A.	▲0.7%	
	設備投資[全産業](ソフトウェア除く) 前年比	▲9.9%	▲7.6%	▲6.1%	
	中 財新製造業PMI(5月)	52.0	52.0	51.9	
	米 製造業ISM指数(5月)	61.2	61.0	60.7	
	欧 ユーロ圏消費者物価指数(5月速報) 前年比	+2.0%	+1.9%	+1.6%	
6/2(水)	米 ベージュブック(地区連銀経済報告)				
6/3(木)	日 10年利付国債入札：最高利回り 0.084%、平均利回り 0.078%、入札倍率 2.94倍				
	中 財新サービス業PMI(5月)	55.1	56.2	56.3	
	米 非製造業ISM指数(5月)	64.0	63.0	62.7	
6/4(金)	日 実質消費支出[二人以上の全世帯](4月) 前年比	+13.0%	+8.7%	+6.2%	
	米 雇用統計(5月) 失業率	5.8%	5.9%	6.1%	
	非農業部門雇用者数 前月差	+559千人	+653千人	R↑ +278千人	
	時間当たり賃金(全従業員ベース) 前月比	+0.5%	+0.2%	+0.7%	
	パウエルFRB議長講演 (Green Swan 2021 Global Virtual Conference)				
印 インド金融政策決定会合(2-4日)					

(注) 金曜日17時時点のデータ。予想は、情報ベンダー(Bloomberg、Reuters等)の取りまとめた予想コンセンサス。米国の経済指標は特に断りのない限り季調値。
Rは改定値(R↑:上方修正、R↓:下方修正)。日:日本、米:米国、欧:欧州、英:英国、独:ドイツ、仏:フランス、中:中国、韓:韓国、印:インド、尼:インドネシア、
泰:タイ、比:フィリピン、伯:ブラジル、馬:マレーシア、亜:アルゼンチン
(出所) Bloomberg、Reuters等より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料1-2 主要経済指標一覧(予定・今週発表分)

【今週発表分】

日付	経済指標等	予想	前回	
6/7(月)	日 景気動向指数(4月速報)	先行D I	N. A.	80.0%
		一致D I	N. A.	88.9%
		先行C I	102.9	102.5
		一致C I	95.6	93.0
	中 貿易収支(5月)	米ドル	+511億 ^F	+429億 ^F
	輸出総額(5月)	前年比	+32.0%	+32.3%
	輸入総額(5月)	前年比	+54.1%	+43.1%
6/8(火)	日 雨宮日銀副総裁講演 (NIKKEI Financial オンラインセミナー)			
	GDP(1~3月期2次速報)	前期比	▲1.2%	▲1.3%
		1次速報		
	国際収支(4月速報)	経常収支	+15,006億円	+26,501億円
		貿易収支	+3,427億円	+9,831億円
	景気ウォッチャー調査(5月)	現状判断D I	33.0	39.1
	30年利付国債入札			
米 貿易収支(4月)	財・サ収支	▲685億 ^F	▲744億 ^F	
3年利付国債入札				
6/9(水)	日 マネーストック(5月速報)	M2 前年比	+8.4%	+9.2%
		M3 前年比	+7.0%	+7.8%
		広義流動性 前年比	N. A. %	+5.9%
	米 10年利付国債入札			
中 消費者物価指数(5月)	前年比	+1.6%	+0.9%	
6/10(木)	日 国内企業物価指数(5月)	前月比	+0.5%	+0.7%
		前年比	+4.5%	+3.6%
	米 消費者物価指数(5月)	前月比	+0.4%	+0.8%
		[食品・エネルギーを除く]	前月比	+0.4%
	30年利付国債入札			
欧 ECB政策理事会				
6/11(金)	日 法人企業景気予測調査(4~6月期)			
	米 ミシガン大消費者信頼感指数(6月速報)		83.8	82.9

(注)金曜日17時時点のデータ。予想は、情報ベンダー(Bloomberg、Reuters等)の取りまとめた予想コンセンサス。米国の経済指標は特に断りのない限り季調値。
Rは改定値(R↑:上方修正、R↓:下方修正)。日:日本、米:米国、欧:欧州、英:英国、独:ドイツ、仏:フランス、中:中国、韓:韓国、印:インド、尼:インドネシア、
泰:タイ、比:フィリピン、伯:ブラジル、馬:マレーシア、亜:アルゼンチン
(出所)Bloomberg、Reuters等より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料2-1 今月のスケジュール(6・7月)

【6月のスケジュール】

国内		米国他	
1	法人企業統計調査(1～3月期) 新車販売台数(5月)	1	米 製造業ISM指数(5月)
2		2	米 ベージュブック(地区連銀経済報告)
3	10年利付国債入札	3	米 非製造業ISM指数(5月) 労働生産性(1～3月期改訂)
4	家計調査(4月)	4	米 バウエルFRB議長講演(Green Swan 2021 Global Virtual Conference)、雇用統計(5月)、製造業新規受注(4月)
5		5	
6		6	
7	景気動向指数(4月速報)	7	
8	雨宮日銀副総裁講演(NIKKEI Financial オンラインセミナー)、GDP(1～3月期2次速報)、国際収支(4月速報)、景気ウォッチャー調査(5月)、30年利付国債入札	8	米 貿易収支(4月)、3年国債入札
9	マネーストック(5月速報)	9	米 10年国債入札
10	企業物価指数(5月)	10	米 CPI(5月)、ECB政策理事会 連邦財政収支(5月)、30年国債入札
11	法人企業景気予測調査(4～6月期)	11	米 ミシガン大学消費者信頼感指数(6月速報)
12		12	
13		13	
14	設備稼働率(4月)	14	
15	第3次産業活動指数(4月)	15	米 小売売上高(5月)、鉱工業生産・設備稼働率(5月) ネット対米証券投資(4月)、PPI(5月) ニューヨーク連銀製造業業況指数(6月)
16	機械受注統計(4月)、貿易統計(5月)	16	米 FOMC(15・16日)、住宅着工・許可件数(5月)
17		17	米 フィラデルフィア連銀製造業業況指数(6月) 景気先行指数(5月)
18	日銀金融政策決定会合(17・18日) 日銀総裁定例記者会見、消費者物価(5月全国)	18	
19		19	
20		20	
21		21	
22	5年利付国債入札	22	米 中古住宅販売件数(5月)、2年国債入札
23	日銀金融政策決定会合議事要旨(4/26・27分)	23	米 経常収支(1～3月期)、新築住宅販売件数(5月) 5年国債入札
24	20年利付国債入札	24	米 GDP(1～3月期確定)、耐久財受注(5月) 企業収益(1～3月期改訂)、7年国債入札 英中銀金融政策委員会(23・24日) 独 ifo景況感指数(6月)
25	資金循環統計(1～3月期速報) 消費者物価(6月都区部)	25	米 ミシガン大学消費者信頼感指数(6月確報) 個人所得・消費支出(5月)
26		26	
27		27	
28	日銀金融政策決定会合における主な意見(6/17・18分)	28	
29	商業動態統計(5月速報)、労働力調査(5月) 2年利付国債入札	29	米 カンファレンスボード消費者信頼感指数(6月)
30	鉱工業生産(5月速報)、消費動向調査(6月) 住宅着工統計(5月)	30	米 シカゴPMI指数(6月)

(注)網掛け部分は休場を示す。予定は変更の可能性があります(出所)各種資料より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

【7月のスケジュール】

国内		米国他	
1	日銀短観(6月調査)、新車販売台数(6月) 10年利付国債入札	1	米 製造業ISM指数(6月)
2		2	米 貿易収支(5月)、雇用統計(6月) 製造業新規受注(5月)
3		3	
4		4	
5		5	米 独立記念日(米国休場)
6	家計調査(5月)、30年利付国債入札	6	米 非製造業ISM指数(6月)
7	景気動向指数(5月速報)	7	米 FOMC議事録(6/15・16分)
8	景気ウォッチャー調査(6月)、国際収支(5月速報) 5年利付国債入札	8	
9	マネーストック(6月速報)	9	
10		10	
11		11	
12	機械受注統計(5月)	12	米 連邦財政収支(6月)、3年国債入札 10年国債入札
13	20年利付国債入札	13	米 CPI(6月)、30年国債入札
14	設備稼働率(5月)	14	米 PPI(6月)、ベージュブック(地区連銀経済報告)
15	第3次産業活動指数(5月)	15	米 鉱工業生産・設備稼働率(6月) フィラデルフィア連銀製造業業況指数(7月) ニューヨーク連銀製造業業況指数(7月)
16	日銀「経済・物価情勢の展望」(基本的見解) 日銀金融政策決定会合(15・16日) 日銀総裁定例記者会見	16	米 ネット対米証券投資(5月)、小売売上高(6月) ミシガン大学消費者信頼感指数(7月速報)
17		17	
18		18	
19		19	
20	消費者物価(6月全国)	20	米 住宅着工・許可件数(6月)
21	貿易統計(6月)	21	
22	海の日(日本休場) 日銀金融政策決定会合議事要旨(6/17・18分)	22	米 中古住宅販売件数(6月)、景気先行指数(6月) 欧 ECB政策理事会
23	スポーツの日(日本休場)	23	
24		24	
25		25	
26		26	米 新築住宅販売件数(6月)、2年国債入札 独 ifo景況感指数(7月)
27	日銀金融政策決定会合における主な意見(7/15・16分) 40年利付国債入札	27	米 耐久財受注(6月)、5年国債入札 カンファレンスボード消費者信頼感指数(7月)
28		28	米 FOMC(27・28日)
29	2年利付国債入札	29	米 GDP(4～6月期速報)、7年国債入札
30	鉱工業生産(6月速報)、商業動態統計(6月速報) 労働力調査(6月)、住宅着工統計(6月)	30	米 ミシガン大学消費者信頼感指数(7月確報) シカゴPMI指数(7月)、個人所得・消費支出(6月) 雇用コスト指数(4～6月期)
31		31	

(注)網掛け部分は休場を示す。予定は変更の可能性があります(出所)各種資料より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料2-2 日本 四半期スケジュール(8～10月)

	8月	9月	10月
日本	2 消費動向調査(7月) 3 消費者物価(7月都区部) 10年利付国債入札 5 10年物価連動国債入札 7 景気動向指数(6月速報) 6 家計調査(6月) 10 景気ウォッチャー調査(7月) 国際収支(6月速報) 11 マネーストック(7月速報) 30年利付国債入札 16 設備稼働率(6月) GDP(4～6月期1次速報) 17 第3次産業活動指数(6月) 18 貿易統計(7月) 機械受注統計(6月) 20 消費者物価(7月全国) 24 5年利付国債入札 26 20年利付国債入札 27 消費者物価(8月都区部) 30 商業動態統計(7月速報) 31 鉱工業生産(7月速報) 労働力調査(7月) 消費動向調査(8月) 2年利付国債入札	1 法人企業統計調査(4～6月期) 7 家計調査(7月) 景気動向指数(7月速報) 8 GDP(4～6月期2次速報) 景気ウォッチャー調査(8月) 国際収支(7月速報) 9 マネーストック(8月速報) 13 法人企業景気予測調査(7～9月期) 14 設備稼働率(7月) 15 第3次産業活動指数(7月) 機械受注統計(7月) 16 貿易統計(8月) 17 資金循環統計(4～6月期速報) 22 日銀金融政策決定会合(21・22日) 日銀総裁定例記者会見 24 消費者物価(8月全国) 30 鉱工業生産(8月速報) 商業動態統計(8月速報)	1 日銀短観(9月調査) 労働力調査(8月) 5 消費者物価(9月都区部) 8 家計調査(8月) 景気ウォッチャー調査(9月) 国際収支(8月速報) 13 マネーストック(9月速報) 機械受注統計(8月) 14 設備稼働率(8月) 20 貿易統計(9月) 22 消費者物価(9月全国) 28 日銀「経済・物価情勢の展望」(基本的見解) 日銀金融政策決定会合(27・28日) 日銀総裁定例記者会見 商業動態統計(9月速報) 29 鉱工業生産(9月速報) 労働力調査(9月) 消費者物価(10月都区部)

(注) 予定は変更の可能性があります

(出所) 各種資料より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

巻末資料2-3 米国・欧州 四半期スケジュール(8~10月)

	8月	9月	10月
米国	2 製造業ISM指数(7月) 4 非製造業ISM指数(7月) 5 貿易収支(6月) 6 雇用統計(7月) 10 3年国債入札 11 C P I (7月) 10年国債入札 12 P P I (7月) 30年国債入札 13 ミシガン大学消費者信頼感指数(8月速報) 16 ニューヨーク連銀製造業業況指数(8月) 17 鉱工業生産・設備稼働率(7月) 小売売上高(7月) 18 FOMC議事録(7/27・28分) 住宅着工・許可件数(7月) 19 フィラデルフィア連銀製造業業況指数(8月) 23 中古住宅販売件数(7月) 24 新築住宅販売件数(7月) 2年国債入札 25 耐久財受注(7月) 5年国債入札 26 G D P (4~6月期暫定) 7年国債入札 27 ミシガン大学消費者信頼感指数(8月確報) 個人所得・消費支出(7月) 31 カンファレンス・ドット 消費者信頼感指数(8月)	1 製造業ISM指数(8月) 2 貿易収支(7月) 3 雇用統計(8月) 非製造業ISM指数(8月) 7 3年国債入札 8 ベージュブック(地区連銀経済報告) 10年国債入札 9 30年国債入札 10 P P I (8月) 14 C P I (8月) 15 鉱工業生産・設備稼働率(8月) ニューヨーク連銀製造業業況指数(9月) 16 小売売上高(8月) フィラデルフィア連銀製造業業況指数(9月) 17 ミシガン大学消費者信頼感指数(9月速報) 21 経常収支(4~6月期) 住宅着工・許可件数(8月) 22 FOMC(21・22日) 中古住宅販売件数(8月) 24 新築住宅販売件数(8月) 27 耐久財受注(8月) 2年国債入札 5年国債入札 28 カンファレンス・ドット 消費者信頼感指数(9月) 7年国債入札 30 G D P (4~6月期確定)	1 ミシガン大学消費者信頼感指数(9月確報) 個人所得・消費支出(8月) 製造業ISM指数(9月) 5 貿易収支(8月) 非製造業ISM指数(9月) 8 雇用統計(9月) 12 3年国債入札 10年国債入札 13 FOMC議事録(9/21・22分) C P I (9月) 30年国債入札 14 P P I (9月) 15 ミシガン大学消費者信頼感指数(10月速報) 小売売上高(9月) ニューヨーク連銀製造業業況指数(10月) 18 鉱工業生産・設備稼働率(9月) 19 住宅着工・許可件数(9月) 20 ベージュブック(地区連銀経済報告) 21 フィラデルフィア連銀製造業業況指数(10月) 中古住宅販売件数(9月) 26 新築住宅販売件数(9月) カンファレンス・ドット 消費者信頼感指数(10月) 2年国債入札 27 耐久財受注(9月) 5年国債入札 28 G D P (7~9月期速報) 7年国債入札 29 ミシガン大学消費者信頼感指数(10月確報) 個人所得・消費支出(9月) 雇用コスト指数(7~9月期)
欧州	5 英中銀金融政策委員会(4・5日)	9 E C B 政策理事会 23 英中銀金融政策委員会(22・23日)	28 E C B 政策理事会

(注) 予定は変更の可能性があります

(出所) 各種資料より、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

・米国経済	松本惇 小野寺莉乃	atsushi.matsumoto@mizuho-ir.co.jp rino.onodera@mizuho-ir.co.jp
・欧州経済	山本武人 矢澤広崇	takehito.yamamoto@mizuho-ir.co.jp hirotaka.yazawa@mizuho-ir.co.jp
・新興国経済	西川珠子 田村優衣	tamako.nishikawa@mizuho-ir.co.jp yui.tamura@mizuho-ir.co.jp
・中国経済	伊藤秀樹	hideki.ito@mizuho-ir.co.jp
・アジア経済	越山祐資	yusuke.koshiyama@mizuho-ir.co.jp
・日本経済	酒井才介 川畑大地	saisuke.sakai@mizuho-ir.co.jp daichi.kawabata@mizuho-ir.co.jp
・コロナ関連	服部直樹	naoki.hattori@mizuho-ir.co.jp
・金融市場・資料全般	長谷川直也 坂中弥生 坂本明日香	naoya.hasegawa@mizuho-ir.co.jp yayoi.sakanaka@mizuho-ir.co.jp asuka.sakamoto@mizuho-ir.co.jp

★次回の発刊は、6月14日(月)を予定しております

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断にてなされますようお願い申し上げます。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。なお、当社は本情報を無償でのみ提供しております。当社からの無償の情報提供をお望みにならない場合には、配信停止を希望する旨をお知らせ願います。